

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育 ( Career education )	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	兵頭 実
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜 3限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。  
 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

**【到達目標】**

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる
4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる

授業計画・内容	
1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか? 「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク: 業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク: 業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク: 人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク: 希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う
10回目	グループワーク: 夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク: 業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク: セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返りを行う
13回目	グループワーク: 振り返りとこれからの目標設定を行う
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 筆記用具 iPad	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育 (Career education)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	兵頭 実
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜 3限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目を更に充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ模擬オーディションを別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるためにイベント出演など校外学習を実施する。 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。							
<b>【到達目標】</b> 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. プロフィールシート作成ができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR・趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 <専門分野・関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 <志望動機・立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 筆記用具 iPad	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ICT (Information and Communication Technology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	水曜1限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 情報へのアクセスが容易になった現在では、様々な端末で通信を行い生活する事が当たり前になってきました。社会に出るとパソコンを駆使して情報をまとめ、更にはプレゼンテーションする能力も求められます。この授業では、Microsoft Office Word, Microsoft Office PowerPointを使用し、基本的な操作を覚えることで、視覚的なフライヤーを作成していきます。また、プレゼンテーションの基礎を覚え、プレゼン資料を作成し、授業内で実際にプレゼンテーションを行います。  
 ※実務者経験:専門学校にてWord,Excel,PowerPoint,ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

**【到達目標】**  
 ①インターネットの現状を学ぶことで、ITリテラシーを身につける。② Wordの基本操作を覚えることで、簡単な文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成(ポスター、フライヤーなど)ができる。③PowerPointの基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表することができる。

授業計画・内容					
1回目	ITガイダンス com portalアカウントを取得し、メールアドレスの設定が完了する。ITリテラシー理解度テストを受け、合格する。				
2回目	Word1 基本的な操作を覚え、簡単な文書を作成することができる。				
3回目	Word2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単な文書を作成することができる。				
4回目	Word3 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な文書の作成ができる。				
5回目	Word4 図形、画像などを使い、視覚的な文書(フライヤー)の作成、印刷ができる。				
6回目	PowerPoint1 基本的な操作を覚え、簡単なスライド作成ができる。				
7回目	PowerPoint2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単なスライド作成ができる。				
8回目	PowerPoint3 作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。				
9回目	PowerPoint4 作成したスライドに動画を入れることができる。				
10回目	PowerPoint5-① プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。				
11回目	PowerPoint5-② プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。				
12回目	PowerPoint5-③ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。				
13回目	PowerPoint5-④ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。				
14回目	PowerPoint6-① 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。				
15回目	PowerPoint6-② 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。				
準備学習 時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておく、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやPowerPointなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。				
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>定期試験50%</td> <td>課題成果50%</td> <td>評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格</td> <td>Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。</td> </tr> </table>	定期試験50%	課題成果50%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。
定期試験50%	課題成果50%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。		
受講生への メッセージ	パソコンの基本的な操作を身につけ、最終的には自分で完成させたスライドでプレゼンテーションをしていきます。授業を通して、自分の思いを言葉にして伝えることの難しさや楽しさ、自分独自の表現を見つけていきましょう。				
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> テキスト:株式会社滋慶出版 COMPUTER BACIC WORD 2013・2016 その他:プリントを用意 データ保存用記憶媒体(USBフラッシュメモリ)					

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ICT (Information and Communication Technology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜1限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 社会に出ると、パソコンを使って様々な情報を管理していくことになります。特に「Microsoft」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作は、仕事をする上では最低限求められるスキルで、どのような企業でも使われています。この授業ではMicrosoft Office Word, Excelを使い、ビジネスに必要な文書作成、表計算の基礎を覚え、基本的な文書作成や表計算ができるようになります。  
 ※実務者経験: 専門学校にて、Word, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

**【到達目標】**

Word: 基本操作を覚えることで、簡単で見栄えの良いビジネス文書の作成ができる。  
 Excel: 基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。

## 授業計画・内容

1回目	Word1-1 基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。
2回目	Word1-2 基本的な操作を覚え、見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
3回目	Word2-1 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。
4回目	Word2-2 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成でき、印刷できる。
5回目	Word3-1 表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。
6回目	Word3-2 表を作成する操作を覚え、表のある見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
7回目	Word4 Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。(中間試験)
8回目	Excel1-1 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く)
9回目	Excel1-2 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式)
10回目	Excel1-3 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式、関数を使った計算)
11回目	Excel2-1 棒グラフの作成をすることができる。
12回目	Excel2-2 円グラフの作成をすることができる。
13回目	Excel2-3 複合グラフの作成をことができ、表とグラフを印刷することができる。
14回目	Excel3 これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
15回目	Excel4 Excelで表とグラフを作成することができる。(期末試験)

準備学習  
時間外学習  
タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておく、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやExcelなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。

評価方法	中間試験と期末試験80% タイピング・課題成果20%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	Word、Excelは中間試験、期末試験で評価を行う。
------	-------------------------------	--	-----------------------------

受講生への  
メッセージ  
IT後期の授業では、ビジネス文書の作成など実際に社会に出たときに活用できる機能をたくさん学んでいきます。  
 前期でやった内容をよく理解して、後期の内容に進んでいきましょう。

**【使用教科書・教材・参考書】**

テキスト: 株式会社滋慶出版 COMPUTER BASIC WORD 2013・2016  
 その他: プリントを用意  
 データ保存用記憶媒体 (USBフラッシュメモリ)

2023年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 前期 レベルA

教科書	EVOLVE 5						
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を書くことができる。						
受講にあたって	オンデマンド授業は学習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を達成するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。						
Unit	(対面授業・オンデマンド授業共通)	回数	レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数	レッスン	学習内容 (対面)
Unit 1 一歩前進する	変化への対応方法について現在・過去の習慣について話すことができる。問題についてディスカッションをし、強く賛成することができる。意見についてのエッセイを読む、また書くことができる。	1	1.1	困難に直面した時の表現方法を学ぶ 現在の習慣についての表現を学ぶ	1	1.1	困難なことへの対処方法について話す
		2	1.2	困ったことを表す表現を学ぶ 過去のあった習慣、困難などについての表現を学ぶ	2	1.2	過去にあった困難なことについて話す
		3	1.3	強調表現、I/Iの発音を学ぶ 様々なコミュニケーションの種類について学ぶ 問題についてディスカッションをする。また強く賛成する際の表現を学ぶ	3	1.3	過去と現在にあったものを比較し、ディスカッションをする
		4	1.4	エッセイの組み立て方を学ぶ	4	1.4	意見述べるエッセイを読む、書く
		5	1.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	5	1.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の懐かしい思い出」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 2 自然の限界	発見と研究について、異なる環境下での生活について話すことができる。重要な情報を交換することができる。自然の中での暮らしについてのインタビュー記事を読むことができる。場所に関する説明文を書くことができる。	6	2.1	宇宙、海洋探査に関する表現を学ぶ 比較を用いた表現を学ぶ	6	2.1	比較を用いた表現を使って、探究や研究について話す
		7	2.2	自然界に関する単語を学ぶ 最上級を用いた表現を学ぶ	7	2.2	最上級を用いた表現を使って、異なる環境下での生物について話す
		8	2.3	アクセントの強弱、リズムについて学ぶ /w/,/v/の発音を学ぶ 情報を求める。また提供する場合の表現を学ぶ	8	2.3	重要な情報の交換、自由時間の行動についてアドバイスする
		9	2.4	歌に関する表現を学ぶ 遠く離れた場所での生活についての記事を読む	9	2.4	場所についての説明文を書く
		10	2.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	10	2.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「アウトドア計画を立てる」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 3 私のあり方	性格のタイプについて、好き・嫌いについて話すことができる。リクエストをする、また答えることができる。採用に関する説明を読む、志望動機を書くことができる。	11	3.1	性格のタイプに関する表現を学ぶ 関係詞を使った表現を学ぶ	11	3.1	様々な性格のタイプについて話す
		12	3.2	強い感情を表す単語を学ぶ 現在分詞を用いた表現を学ぶ	12	3.2	現在分詞を使って、好きなもの・嫌いなものについて話す
		13	3.3	語末の/I/の発音を学ぶ 礼儀正しいイントネーション (発音) を学ぶ リクエストをする。また答える際の表現を学ぶ	13	3.3	リクエストや助けが必要な場面で会話の練習をする
		14	3.4	動物園の求食広告を読む パーソナルステイメントの書き方を学ぶ	14	3.4	パーソナルステイメントを書く
		15	3.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	15	3.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「就職面接」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 4 協力	サポートチームについて話すことができる。有利な点、不利な点についてディスカッションをすることができる。サマリーを読む、また書くことができる。	16	4.1	仕事上の関係に関する表現を学ぶ [so,...that][such...that][even]onlyを用いた表現を学ぶ	16	4.1	生活の中でのサポートチームについて話す
		17	4.2	アイディアの評価に関連する表現を学ぶ 再帰代名詞self [saves]、[other][another]を用いた代名詞について学ぶ 子音-母音のリンキング (発音) について学ぶ	17	4.2	再帰代名詞を使って、何かを決定するために必要な評価について話す
		18	4.3	2語 (フレーズ) でのストレス (発音) について学ぶ 有利な点、不利な点について話す	18	4.3	有利な点/不利な点などの観点からジョブアプリケーションについて話す
		19	4.4	チームワークについての記事を読む サマリーの書き方を学ぶ	19	4.4	記事のサマリーを書く
		20	4.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	20	4.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「資金調達のためのイベントを計画する」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 5 ヒューマンファクター	新しい技術が人に与える影響、また未来のコミュニケーションについて話すことができる。機測を立てることができる。興味深いストーリーを読む、また書くことができる。	21	5.1	感情のコントロールに関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ	21	5.1	仮定法の表現を使って、新しい技術が人に与える影響について話す
		22	5.2	やりたい事、気が進まない事に関する表現を学ぶ [if] 以外の仮定法の表現を学ぶ	22	5.2	未来のコミュニケーションについてディスカッションをする
		23	5.3	/I/,/u/,/au/の発音について学ぶ 文中でのストレス (発音) を学ぶ 確かなもの、不確かなものを述べる際の表現を学ぶ	23	5.3	ビデオゲームについてディスカッションをする確かなもの、不確かなものについて話す
		24	5.4	職責アプリに関する記事を読む 自分の意見をサポートする例を述べる表現を学ぶ	24	5.4	オンライン記事に対するコメントを、例を交えて書く
		25	5.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	25	5.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニティ改善計画」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 6 予期できないものを予期する	予期できない状況について話すことができる。機測を立てることができる。興味深いストーリーを読む、また書くことができる。	26	6.1	名に関する表現を学ぶ 過去形・過去進行形・過去完了形・過去完了進行形を用いた表現を学ぶ	26	6.1	時刻を用いた表現を使って、予期せぬ名詞について話す
		27	6.2	「主張する」などの使役動詞の表現を学ぶ [can]などの助動詞を用いた間接法を学ぶ	27	6.2	間接法を使って、予期できない状況について話す
		28	6.3	複合動詞の発音について学ぶ 母音の長短 (発音) について学ぶ 機測を立てる。また他人の機測に反応する際の表現を学ぶ	28	6.3	予期せぬ状況の中での会話の練習をする
		29	6.4	恥ずかしい失敗についての投稿を読む 長文や短文を用いた面白いストーリーの書き方を学ぶ	29	6.4	面白いストーリーを書く
		30	6.5	Unitの復習 学期末プレゼン準備	30	6.5	Time to Speak: 前期発表

2023年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 後期 レベルA

教科書	EVOLVE 5						
学習到達目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を書くことができる。						
受講にあたって	オンデマンド授業は学習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を達成するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。						
Unit	(対面授業・オンデマンド授業共通)	回数	レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数	レッスン	学習内容 (対面)
Unit 7 優先順位	価値のある経験について、また買物について話すことができる。賛成と反対についてのエッセイを読む、書くことができる。	1	7.1	ポジティブな経験に関する表現を学ぶ 形容詞や名詞の後の不動名詞、不定詞表現を学ぶ 買物、購入に関する表現を学ぶ 動詞のあとに不定詞表現 (目的語あり、なし) を学ぶ	1	7.1	価値のある経験について話す
		2	7.2	母音のリンキング (発音) について学ぶ /ŋ/の発音について学ぶ 価格を交渉する際の表現を学ぶ	2	7.2	自分が買ったものについて話す
		3	7.3	価値のある経験についてのエッセイを読む エッセイを書く上で表現、パラグラフの組み立てを学ぶ	3	7.3	バケーション時 (価格を交渉する場面) の会話を練習する
		4	7.4	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	4	7.4	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「ポート旅行の交渉をする」 ・後期発表と連絡する内容
		5	7.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「ポート旅行の交渉をする」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 8 ささいな問題	サイドプロジェクトについて話すことができる。他人のアイディアに反対する際の表現を学ぶ。クレームの手紙を読む、また書くことができる。	6	8.1	整理しているもの、また乱雑なものについての表現を学ぶ [be+to+動詞]を用いた、義務を表す文法表現を学ぶ	6	8.1	整理しているもの、乱雑なものについて話す
		7	8.2	強弱に関する単語を学ぶ 強弱 (発音) について学ぶ 何かを比較する際のストレス (発音) を学ぶ 他人のアイディアに対して意見を述べる際の表現を学ぶ	7	8.2	未表明の表現を使って、サイドプロジェクトについて話す
		8	8.3	効果的なクレームを伝える方法についての記事を読む クレームを伝える際の表現、クレームに関するレターの構成を学ぶ	8	8.3	イベントを計画しながら、他人のアイディアに意見を述べる練習をする
		9	8.4	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	9	8.4	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「ストレスを減らす方法」 ・後期発表と連絡する内容
		10	8.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「ストレスを減らす方法」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 9 物事が起こる	人生を違うものにする、失敗について話すことができる。人々を安心させることができる。アドバイスについて書かれた記事を読む、書くことができる。	11	9.1	連詞に関する表現を学ぶ 仮定法を用いた表現を学ぶ 失敗や間違いに関連する表現を学ぶ [I wish]などを用いた願望、後悔に関する表現を学ぶ	11	9.1	仮定法を用いた表現を使って、人生における変化について話す
		12	9.2	文中の区切り (発音) を学ぶ 条件節でのイントネーションを学ぶ	12	9.2	過去の失敗について話す
		13	9.3	切切て会う人々のスモートークについての記事を読む アドバイスを与える記事の書き方 (必要な要素、構成) を学ぶ	13	9.3	自分が抱える問題について、安心させる表現を述べる練習をする
		14	9.4	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	14	9.4	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「クラス同意書」 ・後期発表と連絡する内容
		15	9.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「クラス同意書」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 10 人物、プロフィール	人々の性格について、習慣について話すことができる。印象について述べる。公的なプロフィールを読む、また書くことができる。	16	10.1	人々の性格の特徴についての表現を学ぶ 「前置詞+動名詞」の表現を学ぶ 顧客サービスに関する表現を学ぶ 使役動詞を用いた表現を学ぶ	16	10.1	自分と友人の性格の違いについて話す
		17	10.2	前置詞+動名詞を用いた表現を学ぶ 「前置詞+動名詞」の表現を学ぶ	17	10.2	顧客が求めているもの、提供できるものについて話す
		18	10.3	真実の言い方を表す表現を学ぶ [should]など義務を表す助動詞+受身の表現方法を学ぶ 感情、命令表現のイントネーションを学ぶ	18	10.3	会話の中での自分の印象を述べる練習をする
		19	10.4	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	19	10.4	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「会社のウェブサイトの改善方法を検討する」 ・後期発表と連絡する内容
		20	10.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「会社のウェブサイトの改善方法を検討する」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 11 本当に?	偽の商品、また誤情報について話すことができる。信じている事、信じていない事を表現することができる。信じていること、信じていないことについて表現を学ぶ。説得力のあるエッセイを読む、書くことができる。	21	11.1	偽の商品、また誤情報について話すことができる [should]など義務を表す助動詞+受身の表現方法を学ぶ	21	11.1	感情情報について話す
		22	11.2	感情、命令表現のイントネーションを学ぶ	22	11.2	信じていること、信じていないことについてディスカッションをする
		23	11.3	信じていること、信じていないことについて表現を学ぶ	23	11.3	信じていること、信じていないことについて表現を学ぶ
		24	11.4	偽商品レビューの見分け方についての記事を読む 説得力のある文章を書く際の表現や構成を学ぶ	24	11.4	説得力のある文章を書く
		25	11.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「解決策をシェアする」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 12 必要な資質	スキルやパフォーマンスに関する表現を学ぶ。「副詞+形容詞、副詞」の表現を学ぶ。感情的に影響を与える際の表現を学ぶ。不可算名詞に関する表現を学ぶ。才能について話す。人生を豊かにする方法についてディスカッションをする。	26	12.1	スキルやパフォーマンスに関する表現を学ぶ 「副詞+形容詞、副詞」の表現を学ぶ	26	12.1	才能について話す
		27	12.2	感情的に影響を与える際の表現を学ぶ 不可算名詞に関する表現を学ぶ	27	12.2	人生を豊かにする方法についてディスカッションをする
		28	12.3	/d/,/b/など、変化する発音について学ぶ 音節のストレス (発音) を学ぶ 野望を表す表現を学ぶ	28	12.3	自分の目標について話す
		29	12.4	コンサートの裏側担当 (技術者) による個人的なストーリーを読む パフォーマンスのレビューを書く際のフォーマル、インフォーマルな表現を学ぶ	29	12.4	パフォーマンスのレビューを書く
		30	12.5	Unitの復習 学期末プレゼン準備	30	12.5	Time to Speak: 後期発表

2023年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 前期 レベルB+

教科書	EVOLVE 4						
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べる事が出来るようになる。母語話者と一般的なディスカッションや会話の交渉ができる。						
受講にあたって	オンデマンド授業は学習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前を受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。						
Unit	到達目標 (対面授業・オンデマンド授業共通)	回数	レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数	レッスン	
Unit 1 成果、業績	個人の業績について話す、また人を紹介された時の受け答えができる。ブログ投稿についてのコメントを読む、また書くことができる。	1	1.1	業績に関する表現を学ぶ 「業績制」「通行制」を学ぶ、復習する	1	1.1	業績制や通行制を使って、個人の業績について話す
		2	1.2	書質などを表す表現について、形容詞・名詞での表現を学ぶ 動名詞・動詞の使い方を学ぶ	2	1.2	雇用者が求める人材について話す、個人や他人の業績を説明する
		3	1.3	人を紹介する時の表現、また人を紹介された時の受け答えの表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介、他を紹介する場面の会話を練習する
		4	1.4	賛成・反対・より多くの情報を求める際の表現を学ぶ	4	1.4	ブログの投稿を読む、投稿にコメントを書く
		5	1.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	5	1.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「面接のロールプレイ」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 2 流行の食べ物	食べ物の流行について、また料理の準備(調理)について話すことができる。社交の場で申し出る、またそれを覚えることができる。調査についての結果を読む、また報告書を書くことができる。	6	2.1	流行に関する表現を学ぶ 条件詞 (if) について学ぶ	6	2.1	流行に関する表現を使って、トレンドについて話す
		7	2.2	食材や調理法についての表現を学ぶ 接続詞 (after, until, when など) を用いた表現を学ぶ	7	2.2	接続詞を使って、料理の手順について話す
		8	2.3	提案をする、また提案を受ける・断る際の表現を学ぶ 提案を相手を受け入れた際の受領の表現を学ぶ	8	2.3	提案をする際の表現を使って、社交の場や料理を注文する場面の会話を練習する
		9	2.4	消失する/の発音について学ぶ 調査報告に用いられる表現を学ぶ	9	2.4	調査についての結果を読む、また報告書を書く
		10	2.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	10	2.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「レストランの改善案を計画する」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 3 お金と時間	時間とお金の相対的な重要性について話すことができる。謝罪をする、また謝罪を受けることができる。商品のレビューを読む、また書くことができる。	11	3.1	時間とお金に関連する表現を学ぶ [too, enough] について学ぶ	11	3.1	[too/enough] を使い、物事の「程度」について話す 時間とお金の相対的な重要性について話す
		12	3.2	価格と価値に関連する表現を学ぶ 形容詞の比較級について学ぶ、復習する	12	3.2	比較級の表現を使って、物事の価値や価値を判断する基準について話す
		13	3.3	/s/で始まる語の発音を学ぶ 謝罪をする、謝罪を受ける際の表現を学ぶ	13	3.3	謝罪が必要な場面の会話を練習する
		14	3.4	商品のレビューに関するポジティブ、ネガティブな表現を学ぶ	14	3.4	商品のレビューを読む、書く
		15	3.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	15	3.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「批判的な商品レビューへの対応についてディスカッション」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 4 広告と注目されるストーリー	ネット等で注目されているストーリーについて話すことができる。意見を交換し、ディスカッションができる。ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、また書くことができる。	16	4.1	広告に関する表現を学ぶ [might, must, can't] (推測) の使い方を学ぶ	16	4.1	推測の表現を用いて、絵や写真の描写をする
		17	4.2	メディア関連の人を表す表現を学ぶ 関係代名詞の主格、目的格について学ぶ	17	4.2	関係代名詞を使って、ネット等で注目されている人、ストーリーについて話す
		18	4.3	/s/、/z/の発音について学ぶ 意見交換・ディスカッションする際の表現を学ぶ allを用いた強調表現を学ぶ	18	4.3	[all] を使い、強調したい内容を述べる練習をする 意見を交換し、ディスカッションをする
		19	4.4	[because...] を用いて理由や結果を述べる表現を学ぶ	19	4.4	ローカルビジネスについての記事に対する反応を読む、書く
		20	4.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	20	4.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告をデザインする」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 5 本日の出来事	様々な種類のストーリーについて話すことができる。過去の計画について、またその変更について話すことができる。会社の(公式の)謝罪についての記事を読む、謝罪の手紙を書くことができる。	21	5.1	ストーリーの種類を表す表現を学ぶ [had/would] (過去完了形) の使い方を学ぶ	21	5.1	過去完了を使って、様々な種類のストーリーについて話す
		22	5.2	計画を立てる・破る際の表現を学ぶ [was/were going to, was/were supposed to] の使い方を学ぶ	22	5.2	[was/were going to, was/were supposed to] を使って、計画の変更について話す
		23	5.3	語末の子音の発音について学ぶ 問題への対応、解決策の提示・受領の表現を学ぶ 失望を表す表現を学ぶ	23	5.3	失望を表す表現を使って、残念なニュースへのリアクションをする
		24	5.4	会社の(公式の)謝罪を表す様々な表現を学ぶ	24	5.4	会社の(公式の)謝罪についての記事を読む、謝罪の手紙を書く
		25	5.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	25	5.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「偶然の出会いについてのストーリー」 ・前期発表と連絡する内容
Unit 6 コミュニケーション活動	善い行いに関する表現を学ぶ 「奨励型(現在形、過去形)」を学ぶ、復習する 善い行いを表す動詞・名詞・形容詞の形を学ぶ 「奨励動詞[must, might, can, will]の使い方を学ぶ 助けを求める、また断ることができる。 助けを求める、また断る際の表現を学ぶ 話中の/i/の発音について学ぶ レポート中の意見を書く表現を学ぶ	26	6.1	善い行いに関する表現を学ぶ 「奨励型(現在形、過去形)」を学ぶ、復習する	26	6.1	チャリティやボランティア活動について話す
		27	6.2	善い行いを表す動詞・名詞・形容詞の形を学ぶ 「奨励動詞[must, might, can, will]の使い方を学ぶ	27	6.2	近所の人や親切な行為について話す
		28	6.3	助けを求める、また断る際の表現を学ぶ	28	6.3	様々な助けが必要な場面の会話を練習する
		29	6.4	話中の/i/の発音について学ぶ レポート中の意見を書く表現を学ぶ	29	6.4	コミュニケーション計画についてのレポートを読む、書く
		30	6.5	Unitの復習 学期末プレゼン準備	30	6.5	Time to Speak: 前期発表

2023年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 後期 レベルB+

教科書	EVOLVE 4						
学習到達目標	最も身近な分野（個人情報や家族、買い物等）に関する頻度の高い表現を理解し、文章を書くことができる。単純なトピックについて自分の意見を述べる事が出来るようになる。母語話者と一般的なディスカッションや会話の交渉ができる。						
受講にあたって	オンデマンド授業は学習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前を受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。						
Unit	到達目標 (対面授業・オンデマンド授業共通)	回数	レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数	レッスン	
Unit 7 コミュニケーション	話す・書くコミュニケーションについてディスカッションをする。会話やニュース、記事について詳しく話すことができる。フォーマル/インフォーマルな手紙を読む、また書くことができる。	1	7.1	コミュニケーションに関する表現を学ぶ 「間接法」について学ぶ	1	7.1	メッセージアプリの重要性について話す
		2	7.2	オンラインでのコミュニケーションに関する表現を学ぶ	2	7.2	話す・書くコミュニケーションについてディスカッションをする
		3	7.3	語末の/s/、/z/の発音を学ぶ 話(ストーリー)を語る際の表現を学ぶ	3	7.3	会話やニュース、記事について詳しく話す
		4	7.4	Eメール中でのフォーマル/インフォーマルな表現を学ぶ	4	7.4	フォーマル/インフォーマルなEメールを書く
		5	7.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「コミュニケーションに関する調査」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 8 ライフスタイル	異なるワークライフについて話すことができる。最終決定までの選択について話すことができる。ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書くことができる。	6	8.1	様々な仕事を表す表現を学ぶ 仮定法(現在)について学ぶ	6	8.1	仮定法の表現を使って、異なるライフスタイルについて話す
		7	8.2	ワーク・ライフバランスに関する表現を学ぶ I wish (仮定法) について学ぶ	7	8.2	I wish を用いて願望や後悔について話す
		8	8.3	母音/i:/の発音を学ぶ 選択を迫られた時の表現、その際の提案や警告に関する表現を学ぶ	8	8.3	様々な選択がある状況での会話を練習する
		9	8.4	文中の強調表現(発音)について学ぶ 他人の発言や意見を参照する際の表現を学ぶ	9	8.4	ポッドキャストのコメントを読む、また反応を書く
		10	8.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「デジタル・デスクの計画を立てる」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 9 ルールと制限	ルールと制限について話すことができる。一般的な基準を定めることができる。ビジネスにおける批判を読む、また書くことができる。	11	9.1	様々な場所を表す表現を学ぶ 禁止・許可・義務(現在)を表す表現を学ぶ	11	9.1	禁止・許可などの表現を使って、日常のルールや制限について話す
		12	9.2	ルールに関する表現を学ぶ 禁止・許可・義務(過去)を表す表現を学ぶ	12	9.2	禁止・許可などの表現を使って、過去にあったルールや制限について話す
		13	9.3	語頭/d/の発音を学ぶ 一般的な基準を定める際に使う表現を学ぶ	13	9.3	社会ルールや文化の比較についてディスカッションをする
		14	9.4	批判を読む、書く際の表現を学ぶ 態度を示す副詞について学ぶ	14	9.4	ビジネスにおける批判を読む、書く
		15	9.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の改善点について」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 10 発見と説明	過去の出来事について思案することができる。代用品と可能性について話すことができる。相手の発音(長短)について学ぶ 相手の関心を惹く、関心を示す際の表現を学ぶ 同様のもの、対照的なものを表す表現を学ぶ	16	10.1	発見や研究に関する表現を学ぶ 仮定法(過去)について学ぶ	16	10.1	過去の出来事について思案し、話す
		17	10.2	正しいこと/間違っていることに関する表現を学ぶ [should have, could have, might have]を用いた過去の可能性の表現を学ぶ	17	10.2	可能性の表現を用いて、代用品と可能性について話す
		18	10.3	母音の発音(長短)について学ぶ 相手の関心を惹く、関心を示す際の表現を学ぶ	18	10.3	話し相手の関心を持つながらディスカッションをする
		19	10.4	文中での強調(発音)を学ぶ 同様のもの、対照的なものを表す表現を学ぶ	19	10.4	なくては生きていけないもの、生きていけるものについてのコメントを読む、書く
		20	10.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町での楽しい週末を計画する」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 11 対照的なもの	科学的な事実について話すことができる。代わりになるものについてディスカッションし、提案することができる。テクノロジーの進化についての意見を読み、反応を書くことができる。	21	11.1	大学教育に関する表現を学ぶ [forget, remember, stop]の後のto不定詞、動名詞について学ぶ	21	11.1	to不定詞、動名詞の表現を使って、大学の生活について話す
		22	11.2	科学に関する表現を学ぶ 使役動詞[help, let, make]の使い方を学ぶ	22	11.2	科学的な事実についてディスカッションをする
		23	11.3	季節のストレス(発音)について学ぶ 代替品を勧める、他の選択肢について尋ねる、デメリットについて述べる際の表現を学ぶ	23	11.3	代わりになるものについてディスカッションをする
		24	11.4	議論を始める・追加する、結論を述べる際の表現を学ぶ	24	11.4	議論を含むコメントを読む、書く
		25	11.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「問題解決についての提案」 ・後期発表と連絡する内容
Unit 12 過去を振り返る	知覚(においや音、触覚など)に関する表現を学ぶ 特別な写真について、またその背景のストーリーを述べることができる。 過去の経験を振り返り、共有することができる。 ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、また書くことができる。	26	12.1	知覚(においや音、触覚など)に関する表現を学ぶ 強調表現を学ぶ	26	12.1	特別な写真について、またその背景のストーリーについて話す
		27	12.2	記憶、思い出に関する表現を学ぶ [one] (代入)、[it/this] (参照) の使い方を学ぶ	27	12.2	子どもの頃の思い出について話す
		28	12.3	子音連結(発音)について学ぶ 返答を促す、記憶を思い起こす際の表現を学ぶ	28	12.3	過去の経験を振り返り、話す
		29	12.4	文と文の連結する際の表現の発音(ストレス)を学ぶ メリット、デメリットを述べる際の表現を学ぶ	29	12.4	ペットを飼うことのメリット・デメリットについての分析を読む、書く
		30	12.5	Unitの復習 学期末プレゼン準備	30	12.5	Time to Speak: 後期発表

2023年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 前期 レベルB

教科書	EVOLVE 3														
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるように。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。														
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するために、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。														
Unit	回数	回	レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数	回	レッスン	学習内容 (対面)	回数	回	レッスン	学習内容 (対面)			
Unit 1 知り合いになる	対面授業・オンデマンド授業共通	1	1.1	性格を表す単語を学ぶ [WH-question]を使った表現を学ぶ	1	1.1	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる会話を練習する	相手の質問をする、また質問に答えることができる。 自己紹介をし、知り合いになることができる。 報紙へのメールを読む、また書くことができる。	2	1.2	個人の情報(ライフステージ)に関する表現を学ぶ 間接疑問文や映画	2	1.2	「間接疑問文」を使って、人に質問をする、また質問に答える練習をする	
		3	1.3	新しい情報を伝える時の文中のストレス(発音)を学ぶ 自己紹介、他者紹介の表現を学ぶ	3	1.3	自己紹介と他者紹介に関する会話を練習する								
		4	1.4	段落を意図したメールの読み方、書き方を学ぶ	4	1.4	誰かと知り合いになるためのメールを書く								
		5	1.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	5	1.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「良いリーダーになるために必要なこと」 ・前期発表と運動する内容								
		6	2.1	持ち物や持ち物に関連する表現を学ぶ [ever/never/for/since]を用いた現在完了形を学ぶ	6	2.1	現在進行形を使って持ち物について話す								
Unit 2 持ち物	対面授業・オンデマンド授業共通	7	2.2	スマホやPCの機能に関する表現を学ぶ [already/yet]を用いた現在完了形を学ぶ	7	2.2	現在完了形を使って持ち物やその機能などについて話す	自分の持ち物について述べるができる。 ネット広告を読む、また書くことができる。	8	2.3	語頭の/l/の発音を学ぶ 話題を変える際の表現を学ぶ 簡単な聞き返し(興味を示す)の表現を学ぶ	8	2.3	聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使ってディスカッションをする	
		9	2.4	ネット広告の読み方、書き方を学ぶ 代名詞としてのoneの使い方を学ぶ	9	2.4	欲しいものについての広告を書く								
		10	2.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	10	2.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物について」 ・前期発表と運動する内容								
		11	3.1	街中の橋や建物などの特徴に関する単語を学ぶ 冠詞について学ぶ	11	3.1	冠詞に注意しながら、自分の町について尋ねる、また質問に答える練習をする		街の場所/道順 助動詞を用いて、自分の町について話すことができる。 ビル内の道順を尋ねる、また教えることができる。 家職申し込みを読み、申込書を書くことができる。	12	3.2	公共交通機関に関する単語を学ぶ 助動詞 [would/could/should] を使って、他の場所への生き方について話す	12	3.2	[would/could/should] を使って、他の場所への生き方について話す
		13	3.3	語頭の/p/の発音を学ぶ 道順を尋ねる、また教える際の表現を学ぶ 理解を示すための繰り返し(言い直し)の表現を学ぶ	13	3.3	建物内の通案の場での会話を練習する								
14	3.4	求人広告を読み、志望動機の書き方を学ぶ 大文字やピリオドなど、基本的なルールを学ぶ	14	3.4	求人に対して志望動機を書く										
15	3.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	15	3.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と運動する内容										
16	4.1	意見や反応を示す単語を学習する [be going to/will]を使った未来についての表現を学ぶ	16	4.1	[be going to/will] を使って、週末の予定について話す										
Unit 4 計画を立てる	対面授業・オンデマンド授業共通	17	4.2	計画を立てる際の表現を学習する [will]を用いた突然の決定、予定に関する表現を学ぶ	17	4.2	[be going to/will] を使って、旅行の計画について話す	個人的な意見を述べ、計画を立てることができる。 安心させる、またそれに答えることができる。 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、また書くことができる。	18	4.3	語頭の/p/の発音を学ぶ 安心させる言葉、またその反応を学ぶ [at least]を用いた表現を学ぶ	18	4.3	心配や不安になる状況での会話を練習する	
		19	4.4	イベントの内容、スケジュールについての英文メールの読み方、書き方を学ぶ 順序に関する表現を学ぶ	19	4.4	イベント内容やスケジュールについての情報を伝えるメールを書く								
		20	4.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	20	4.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に見なれるアクティビティをデザインする」 ・前期発表と運動する内容								
		21	5.1	ものを失くす、見つかる際の表現を学ぶ 単純過去形の使い方を学ぶ	21	5.1	単純過去形を使って、失くしたものと、見つけたものについて話す		驚いたできごと(ものを失くす、見つかる、助けを求め、助けを求められる)について話すことができる。 簡単な物語を読む、また書くことができる。	21	5.2	助けを求め、助ける際の表現を学ぶ 単純過去形・過去進行形について学ぶ、復習する	21	5.2	単純過去形、過去進行形を使って、助けが必要になる場での会話を練習する
		23	5.3	驚きを表す際の発音(ストレス)を学ぶ 驚いたことを示す、リアクションに関する表現を学ぶ	23	5.3	驚いたできごとについて話す								
24	5.4	短い物語を読み理解し、書き方を学ぶ	24	5.4	短い物語を書く										
25	5.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	25	5.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「おもしろい、驚くストーリー」 ・前期発表と運動する内容										
26	6.1	都会の問題に関する表現を学ぶ 数量詞について学ぶ	26	6.1	数量詞を使って、都会の問題について話す										
Unit 6 問題と解決	対面授業・オンデマンド授業共通	27	6.2	マナーに関する副詞を学ぶ [If/When]を用いた現在・未来の条件節を学ぶ	27	6.2	現在・未来の条件節を使って、問題と解決策について話す	都会の問題と解決策について話すことができる。 様々な状況で心配、また安心を表現することができる。 価値観についてのネット投稿を読む、また書くことができる。	28	6.3	語末の発音を学ぶ 様々な状況での心配、また安心を示す際の表現を学ぶ [though]を使った反対意見の述べ方を学ぶ	28	6.3	[though]を使って反対意見を述べる練習をする 心配や安心を表す表現を使った会話を練習する	
		29	6.4	価値観についてのネット投稿を読み、書き方を学ぶ ライティングにおける質問文の書き方を学ぶ	29	6.4	価値観についてのネット投稿に対し、自分のコメント(考え)を書く								
		30	6.5	Unitの復習 学期末プレゼン準備	30	6.5	Time to Speak: 前期発表								

2023年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 後期 レベルB

教科書	EVOLVE 3														
学習到達目標	日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。														
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するために、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。														
Unit	回数	回	レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数	回	レッスン	学習内容 (対面)	回数	回	レッスン	学習内容 (対面)			
Unit 7 エンターテインメント	対面授業・オンデマンド授業共通	1	7.1	音楽の種類に関する単語を学ぶ [used to]を用いた過去の習慣に関する表現を学ぶ	1	7.1	音楽の種類に関する単語を学ぶ [used to]を用いた過去の習慣に関する表現を学ぶ	音楽、TV番組、映画について話すことができる。 映画のレビューを読む、また書くことができる。	2	7.2	TV番組や映画に関連する表現を学ぶ [not as...as]を用いた比較の表現を学ぶ	2	7.2	比較の表現を使って、TV番組や映画について話す	
		3	7.3	[m]/[n]の発音を学ぶ 読みを断る、またそれに答えることができる	3	7.3	[m]/[n]の発音を学ぶ 読みを断る、またそれに答えることができる								
		4	7.4	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ	4	7.4	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ								
		5	7.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	5	7.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備								
		6	8.1	経験を表す単語を学ぶ 現在完了進行形について学ぶ	6	8.1	経験を表す単語を学ぶ 現在完了進行形について学ぶ								
Unit 8 最近の出来事	対面授業・オンデマンド授業共通	7	8.2	推測を表す表現を学ぶ 現在完了形や現在完了進行形について学ぶ	7	8.2	推測を表す表現を学ぶ 現在完了形や現在完了進行形について学ぶ	最近していること、他人のニュースについて話すことができる。 タイムマネジメントについての投稿を読む、また書くことができる。	8	8.3	/a/ /æ/の発音を学ぶ 久しぶりであった物の挨拶、近況を尋ねる表現を学ぶ [that would be]を用いた自分の意見(コメント)の述べ方を学ぶ	8	8.3	他人のニュースについて、自分の意見を聞き	
		9	8.4	タイムマネジメントについての投稿を読む 物事が起こった時間の間を表す表現を学ぶ	9	8.4	タイムマネジメントについての投稿を書く								
		10	8.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	10	8.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備								
		11	9.1	大学での科目に関する表現を学ぶ 助詞 [have to, need to, must] を学ぶ	11	9.1	大学での科目に関する表現を学ぶ 助詞 [have to, need to, must] を学ぶ		学校や職場でのルール、勉強方法について話すことができる。 自信の有無を表す表現を学ぶ [the thing is]を用いた理由を述べる表現を学ぶ 履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	12	9.2	文中の区切り(発音)を学ぶ 自信の有無を表す表現を学ぶ [the thing is]を用いた理由を述べる表現を学ぶ	12	9.2	助詞 [can't, must not] を使って、大学や学校で学ぶ科目について話す
		13	9.3	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	13	9.3	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ								
15	9.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	15	9.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備										
16	10.1	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ	16	10.1	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ										
17	10.2	商品の詳細について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する	17	10.2	商品の詳細について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する										
Unit 10 商品と選択	対面授業・オンデマンド授業共通	18	10.3	商品の説明について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する	18	10.3	商品の説明について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する	商品の詳細について、商品を選ぶ理由について説明することができる。 他人が選んだものについて質問する 商品に関するレビューを読み、また書くことができる。	19	10.4	商品に関するレビューの読み方、書き方を学ぶ [However/Although]を用いた逆説の表現を学ぶ	19	10.4	商品に関するレビューを書く	
		20	10.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	20	10.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備								
		21	11.1	句動詞 [work out, set up, など] の表現を学ぶ	21	11.1	句動詞 [work out, set up, など] の表現を学ぶ								
		22	11.2	機会や危険に関する単語を学ぶ 現在・未来の条件節について学ぶ	22	11.2	機会や危険に関する単語を学ぶ 現在・未来の条件節について学ぶ								
		23	11.3	/j/ /dʒ/の発音を学ぶ 了承を得る、了承を求め際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[guess/feel like]を学ぶ 自身の身に起きた出来事についての書き方を学ぶ	23	11.3	了承を得る、了承を求め際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[guess/feel like]を学ぶ 自身の身に起きた出来事についての書き方を学ぶ								
Unit 11 成功の秘訣	対面授業・オンデマンド授業共通	24	11.4	自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書くことができる。	24	11.4	自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書くことができる。	想像上のチャレンジについて、また成功の秘訣について話すことができる。 意見を述べ、賛成を求めることができる。 自分を奮い立たせる方法についてのネット記事を読み、それに関するストーリーを書くことができる。	25	11.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	25	11.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	
		26	12.1	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ	26	12.1	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ								
		27	12.2	過半数ことに関連する表現を学ぶ 直接話法と間接話法について学ぶ	27	12.2	過半数ことに関連する表現を学ぶ 直接話法と間接話法について学ぶ								
		28	12.3	語末のedの発音を学ぶ 自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ [in the end] / "after all that" の使い方を学ぶ	28	12.3	語末のedの発音を学ぶ 自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ [in the end] / "after all that" の使い方を学ぶ								
		29	12.4	人生の教訓についての逸話を読み、書く方法を学ぶ 同じ意味をもつことばやフレーズの異なる表現方法を学ぶ	29	12.4	人生の教訓についての逸話を読み、書く方法を学ぶ 同じ意味をもつことばやフレーズの異なる表現方法を学ぶ								
Unit 12 事故と感情	対面授業・オンデマンド授業共通	30	12.5	Unitの復習 学期末プレゼン準備	30	12.5	Unitの復習 学期末プレゼン準備	ある出来事に関する、自身の感情、気持ちを話す 教訓となった出来事と学んだことについて書く							



2023年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 前期 レベルC

教科書	EVOLVE 2						
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物その他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。						
Unit	到達目標 (対面授業・オンデマンド授業共通)	回数	レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数	レッスン	学習内容 (対面)
Unit 1 知人について	知人・家族について話すことができる。 職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。	1	1.1	身近な人を表す言葉や単語を学ぶ be動詞の使い方の、代名詞の所有格を学ぶ	1	1.1	be動詞、代名詞の所有格を使って、 知人・家族について話す
		2	1.2	「～のもの」を表す使い方を学ぶ 「誰ののですか?」の聞き方を学ぶ	2	1.2	「～のもの」を表す表現を使って、 所有物について話す
		3	1.3	挨拶や会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ /h/の発音を学ぶ	3	1.3	挨拶をして会話を始める練習をする 興味や驚きを表す表現を練習する
		4	1.4	Eメールの基本ルールを学ぶ 丁寧な書き方を学ぶ	4	1.4	自己紹介をする 職場でのフォーマルなEメールを読む、書く
		5	1.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	5	1.5	Time to Speak: ・スピーキング評価: ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて」 ・前期発表と運動する内容
Unit 2 仕事と勉強	毎日していることについて話すことができる。 ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。	6	2.1	一般動詞(現在形)の基本的な使い方を学ぶ 一般動詞の疑問文、否定文、程度を尋ねる文を学ぶ	6	2.1	[Wh-question]を練習する 一般動詞の疑問文、否定文を使って、 習慣・ルーティンについて質問する、返答する
		7	2.2	デスク上にある「物」についての単語を学ぶ 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ	7	2.2	指示代名詞を使って、 仕事や勉強をする空間について話す・質問する
		8	2.3	トラブルが起こった時、繰り返しを求める表現を学ぶ /h/の発音を学ぶ	8	2.3	意識疎かに間違ったことを説明する 繰り返しを求める表現を練習する
		9	2.4	日常のヒックスについての語彙を学ぶ 相手の意見を聞く、またそれに対し意見を述べる表現を学ぶ	9	2.4	ポッドキャストについての意見を読む、書く
		10	2.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	10	2.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて」 ・前期発表と運動する内容
Unit 3 スポーツと運動	今していることについて話すことができる。 サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。	11	3.1	「現在進行形」を学ぶ・復習する 今まさに起こっていることを表現する	11	3.1	「現在進行形」を使って、 今まさに起こっていることについて話す
		12	3.2	動きを表す表現を学ぶ 現在形や現在進行形の違いを学ぶ	12	3.2	「現在進行形」「現在形」を練習する スゴーフ、運動について話す
		13	3.3	情報を得るため、必要な表現を学ぶ 聞き返す、もう一度言ってほしい時の表現を学ぶ ou/と/o/の発音を学ぶ	13	3.3	知らない情報の人に尋ねたり、情報を取り戻りたりできるよう、 会話を練習する
		14	3.4	意見を表す表現を学ぶ 公共サービスに関する意見聞き、内容を理解する	14	3.4	サービスや会社に対するコメントを読む、書く
		15	3.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	15	3.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る」 ・前期発表と運動する内容
Unit 4 招待	招待する、またそれに応えることができる。 イベントへの招待を読む、また書くことができる。	16	4.1	be動詞+ingを使った未来の表現を学ぶ	16	4.1	「現在進行形」を使って、 これから予定している計画について話す
		17	4.2	贈り物を人に渡したり、もらった時の表現を学ぶ 目的格代名詞の適切な使い方を学ぶ	17	4.2	目的格代名詞を使って、 人/物にプレゼントする会話を練習する
		18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の表現を学ぶ /v/の発音を学ぶ	18	4.3	誰かを誘う、人から誘われた際の会話を練習する 誘いを断る理由を説明する
		19	4.4	未来のイベント案内の表現を学ぶ 発音(Reduction)を学ぶ	19	4.4	未来のイベント案内を読む、書く イベントを企画してアカウンタメントする
		20	4.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	20	4.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを作る」 ・前期発表と運動する内容
Unit 5 過去のイベント	人生の中で過去のイベントについて話すことができる。 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。	21	5.1	過去の思い出や出来事について話す際の表現を学ぶ	21	5.1	過去の出来事について話す 自分の意見を述べる・自分の気持ちを相手に伝える
		22	5.2	一般動詞の過去形の疑問文、否定文を学ぶ 様々なライフイベントの表現を学ぶ	22	5.2	過去の出来事について質問する 過去形の疑問文、否定文を練習する
		23	5.3	誰かを褒めた/怒った時の表現を学ぶ 相手の言ったことと確認する時の表現を学ぶ シラブル(音節)とストレス(発音)を学ぶ	23	5.3	適切な英語表現を用いて、相手を褒めたり、怒めたりする会話を練習する 自分の認識が正しいかどうかを確認する
		24	5.4	外国での体験談を読んだり理解を深める 短い投稿に対して、同意・反対の表現を学ぶ	24	5.4	投稿に対して、賛成・反対のコメントを書く
		25	5.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	25	5.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と運動する内容
Unit 6 買い物	店内で欲しいものについて述べる事ができる。 新しい商品の説明を読む、またVlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書くことができる。	26	6.1	買い物に関連した単語や熟語を学ぶ [be going to+動詞の原形]を復習する	26	6.1	[be going to]を使って、 買い物に行くことについて会話を練習する
		27	6.2	買い物時のフレーズを学ぶ 「限定」の使い方を学ぶ 数えられる名詞、数えられない名詞の数量の表し方を学ぶ	27	6.2	特定・不特定の物や人の数量を表し、 買い物習慣について話す
		28	6.3	欲しいものを伝える表現を学ぶ 名称がわからない物の聞き方を学ぶ 会話内の単語レベルのストレス(発音)についてを学ぶ	28	6.3	お店で買いたい物、探している物や伝える会話を練習する 物事の言い方を英語で聞く
		29	6.4	お金に関するストーリーを読む、読む 代名詞に注意しながら文を読む	29	6.4	新しい商品の説明を読む、Vlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書く
		30	6.5	Unitの復習 学期末プレゼン準備	30	6.5	Time to Speak: 前期発表

2023年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 後期 レベルC

教科書	EVOLVE 2						
学習到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物その他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。						
Unit	到達目標 (対面授業・オンデマンド授業共通)	回数	レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数	レッスン	学習内容 (対面)
Unit 7 食べる・飲む	レストランで頼みたいものについて説明することができる。 ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。	1	7.1	食べ物や飲み物を表す単語を学ぶ 「数値詞」(加算名詞・不可算名詞)を学ぶ	1	7.1	数量詞を使って、 一番好きな食べ物について話す
		2	7.2	食品や味の調理方法の英単語を学ぶ 「動名詞」と「to不定詞」を学ぶ	2	7.2	食品の味や調理方法について話す 動名詞とto不定詞を使った会話を練習する
		3	7.3	料理を注文する際の表現を学ぶ 言いたいことを明確に伝える表現を学ぶ /g/の発音を学ぶ	3	7.3	料理を注文する際の表現を学ぶ 言いたいことを明確に伝える表現を学ぶ 飲食店で料理を注文する会話を練習する
		4	7.4	オンライン上の記事を読み、コメントを投稿する 意見を述べる表現 [I think, I don't think] を学ぶ	4	7.4	オンライン記事の内容を読み、自分の意見をコメントをする
		5	7.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	5	7.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「パーティを計画する」 ・後期発表と運動する内容
Unit 8 旅行(短期)	提案をする、また提案をうけることができる。 海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。	6	8.1	旅行に関する単語を学ぶ 接続詞[if / when]の使い方を学ぶ	6	8.1	自分の町で何をやるのかについて話す
		7	8.2	移動に伴う様々な動きを表す表現を学ぶ [to/for]の使い方を学ぶ	7	8.2	[to/for]を使って、理由を説明する 過去に行った旅行について話す
		8	8.3	アドバイスや提案する際の表現、その反応の表現を学ぶ 母音の発音パターンを学ぶ	8	8.3	適切なアドバイスや提案する会話を練習する アドバイスに対しての反応を練習する
		9	8.4	旅行に関する適切なアドバイスや提案を学ぶ 語尾の上げ下げ(発音)について学ぶ	9	8.4	海外旅行・生活についてのアドバイスを読む、書く
		10	8.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	10	8.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「短期旅行のプランを立てる」 ・後期発表と運動する内容
Unit 9 見たい	意見を尋ねる、また述べる事ができる。 広告を読む、また写真の説明を書くことができる。	11	9.1	アクセサリーに関する英単語を学ぶ 「形容詞の比較級」を学ぶ	11	9.1	いろいろな量と比較する会話を練習する
		12	9.2	顔や髪などの特徴に関する英単語を学ぶ 「形容詞の最上級」を学ぶ	12	9.2	「形容詞の最上級」を使って、 写真に写った人について話す
		13	9.3	アドバイスをしたり、受けたりする際の表現を学ぶ /a/の発音を学ぶ	13	9.3	[I guess]を使って、アドバイスを相手に求める、またはアドバイスを する会話を練習する
		14	9.4	写真についての説明に使う表現を学ぶ	14	9.4	写真についての説明を読む、書く
		15	9.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	15	9.5	Time to Speak: ・スピーキング: ロールプレイ・プレゼンテーション 「広告を作り、発表する」 ・後期発表と運動する内容
Unit 10 職業	将来の予想を立てることができる。 アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。	16	10.1	職業に関する単語を学ぶ [have to]の使い方を学ぶ	16	10.1	仕事でどのような危険を避けるかを話し合う
		17	10.2	懐疑や病気の表現を学ぶ 未来に起こるかもしれないことを予測する表現を学ぶ	17	10.2	これからのことについて、適切に表現できるように、練習する
		18	10.3	相手の体調を尋ねる、症状を述べる際の表現を学ぶ 語末の子音の発音を学ぶ	18	10.3	[It feels like (it's like)]を使って、 体調不良や怪我の症状などについて話す
		19	10.4	[be afraid of]などの表現を学ぶ	19	10.4	将来の自分に向けたメッセージを読む、書く
		20	10.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	20	10.5	Time to Speak: ・スピーキング評価: ロールプレイ・プレゼンテーション 「リアリティ番組を計画する」 ・後期発表と運動する内容
Unit 11 ソーシャルメディア	したことがあること、ないことについて話すことができる。 インフォグラフィックを読む、セルフイーについての短いコメントを書くことができる。	21	11.1	インターネット上で使用するフレーズを学ぶ 「現在完了形(経験)」を学ぶ	21	11.1	今までに経験したことや経験したことのないことについて話し合う
		22	11.2	ソーシャルメディアで内する単語やフレーズを学ぶ 「現在完了形」と「過去形」の違いを学ぶ	22	11.2	ソーシャルメディアについての内容を読む、話す、質問する
		23	11.3	お断り(断り)をする、許可を得る際の表現を学ぶ /n/と/m/の発音を学ぶ	23	11.3	誰かに頼みごとをしたり、許可を得ることができるよう、練習する または、その反応をする表現を練習する
		24	11.4	情報画像、インフォグラフィック(図、表など)を用いたブログを書く [I always thought.../I think it's interesting that.../Who cares?]などの表現を学ぶ	24	11.4	インフォグラフィックを読む、コメントを書く
		25	11.5	Unitの復習 Time to Speak準備 学期末プレゼン準備	25	11.5	Time to Speak: ・スピーキング評価: ロールプレイ・プレゼンテーション 「ビデオ、またVlogを作る」 ・後期発表と運動する内容
Unit 12 アウトドア	天気について話すことができる。 場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。	26	12.1	天気に関する単語を学ぶ [be like]の疑問文での使い方を学ぶ	26	12.1	[be like]を使って、天気について話す
		27	12.2	風景や都市の景観を表す英単語を学ぶ 「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ	27	12.2	関係代名詞を使って、 場所、人、物事を説明する
		28	12.3	道を尋ねる、また道を教える際の表現を学ぶ 単語の始めの/w/の発音を学ぶ	28	12.3	道を尋ねる、また道を問われた時に答える会話を練習する
		29	12.4	手順を説明する際に使用する順序を表す単語を学ぶ /h/の音が/g/で/着りになる時の発音について学ぶ	29	12.4	簡単な指示文を書く
		30	12.5	Unitの復習 学期末プレゼン準備	30	12.5	Time to Speak: 後期発表



2024年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 前期 レベルD

教科書	EVOLVE 1				
学習到達目標	よく使われる日常的表现と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれる簡単なやり取りをすることができる。				
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。				
Unit	到達目標 (対面授業・オンデマンド授業共通)	回数 レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数 レッスン	学習内容 (対面)
Unit 1 個人的な情報	個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。 個人的な経歴等のプロフィールを読み、また書くことができる。	1	1.1	1	1.1
		2	1.2	2	1.2
		3	1.3	3	1.3
		4	1.4	4	1.4
		5	1.5	5	1.5
Unit 2 家族	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を眺めとることができる。	6	2.1	6	2.1
		7	2.2	7	2.2
		8	2.3	8	2.3
		9	2.4	9	2.4
		10	2.5	10	2.5
Unit 3 住居	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。	11	3.1	11	3.1
		12	3.2	12	3.2
		13	3.3	13	3.3
		14	3.4	14	3.4
		15	3.5	15	3.5
Unit 4 好み	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	16	4.1	16	4.1
		17	4.2	17	4.2
		18	4.3	18	4.3
		19	4.4	19	4.4
		20	4.5	20	4.5
Unit 5 生活習慣	平日、週末のアクティビティについて話すことができる。 日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。	21	5.1	21	5.1
		22	5.2	22	5.2
		23	5.3	23	5.3
		24	5.4	24	5.4
		25	5.5	25	5.5
Unit 6 通期	通期について尋ねる、また教えることができる。 場所についての特徴について読み、書くことができる。	26	6.1	26	6.1
		27	6.2	27	6.2
		28	6.3	28	6.3
		29	6.4	29	6.4
		30	6.5	30	6.5

2023年度グローバルコミュニケーション 授業シラバス 後期 レベルD

教科書	EVOLVE 1				
学習到達目標	よく使われる日常的表现と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれる簡単なやり取りをすることができる。				
受講にあたって	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。				
Unit	到達目標 (対面授業・オンデマンド授業共通)	回数 レッスン	学習内容 (オンデマンド)	回数 レッスン	学習内容 (対面)
Unit 7 自宅での生活	自宅の生活について話すことができる。 ブログ記事を読み、書くことができる。	1	7.1	1	7.1
		2	7.2	2	7.2
		3	7.3	3	7.3
		4	7.4	4	7.4
		5	7.5	5	7.5
Unit 8 スキル・能力	自身のスキルや能力について話すことができる。 自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。	6	8.1	6	8.1
		7	8.2	7	8.2
		8	8.3	8	8.3
		9	8.4	9	8.4
		10	8.5	10	8.5
Unit 9 休暇・旅行	旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。	11	9.1	11	9.1
		12	9.2	12	9.2
		13	9.3	13	9.3
		14	9.4	14	9.4
		15	9.5	15	9.5
Unit 10 週末の計画	週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。 オンラインでの招待状を読み、書くことができる。	16	10.1	16	10.1
		17	10.2	17	10.2
		18	10.3	18	10.3
		19	10.4	19	10.4
		20	10.5	20	10.5
Unit 11 過去の出来事	過去についての場所や出来事、過去の人について述べるすることができる。 思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。	21	11.1	21	11.1
		22	11.2	22	11.2
		23	11.3	23	11.3
		24	11.4	24	11.4
		25	11.5	25	11.5
Unit 12 レストラン	食べた食事について話すことができる。 レストランのレビューを読む、また書くことができる。	26	12.1	26	12.1
		27	12.2	27	12.2
		28	12.3	28	12.3
		29	12.4	29	12.4
		30	12.5	30	12.5

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージックセオリー (Music Theory)	必修 選択	必修	年次	1・2年	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	スーパーeエンターテイメント 科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜3限

## 【授業の学習内容】

音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、  
楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。  
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

## 【到達目標】

音名を知ることから始め、5線に書かれた楽譜を読めるようにする。  
また、メジャースケールや5度圏など、調性についての知識を習得する。

## 授業計画・内容

1回目	楽譜の歴史を知る。
2回目	音名を知る。
3回目	音符・休符
4回目	拍子記号
5回目	反復記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	メジャースケール
8回目	メジャースケール
9回目	メジャースケール、5度圏、調号
10回目	メジャースケール、5度圏、調号
11回目	記譜法、臨時記号
12回目	記譜法、臨時記号
13回目	テンポ、強弱記号
14回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
15回目	期末テスト

準備学習  
時間外学習

評価方法 試験80%、出席・授業態度20%

受講生への  
メッセージ

## 【使用教科書・教材・参考書】

教科書、iPad、授業プリント

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージックセオリー (Music Theory)	必修 選択	必修	年次	1・2年	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	スーパーeエンターテイメント 科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜3限
<b>【授業の学習内容】</b> 音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。							
<b>【到達目標】</b> マイナースケールや近親調など調性についての知識を習得する。 基本形でのコードがわかる。							

授業計画・内容	
1回目	マイナースケールを知る。
2回目	マイナースケール
3回目	近親調
4回目	移調
5回目	奏法の記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	コード(トライアド)
8回目	コード(トライアド)
9回目	コード(7thコード)
10回目	コード(7thコード)
11回目	その他のコード
12回目	その他のコード
13回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
14回目	期末テスト
15回目	テスト返却、復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生への メッセージ	
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 教科書、iPad、授業プリント	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニング (Ear Training)	必修 選択	必修	年次	1・2年	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	月曜1限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。  
 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、  
 身の回りの音から創造力を習得する。  
 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

**【到達目標】**  
 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

## 授業計画・内容

1回目	3、4拍子のビート感覚がわかる。2度の音程が歌える、聴き取れる。
2回目	全音、半音の違い、8分音符、C～Eの音を聴き取れる。
3回目	M.mの意味が理解できる。1、8度を聴き取れる。歌える。
4回目	短いフレーズを覚えて楽譜にできる。異名同音の存在が理解できる。M.mの音程が歌える、聴ける。
5回目	簡単な楽譜を見て音を想像できる。
6回目	確認テスト
7回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
8回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
9回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
10回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
11回目	16ビート上で正確に叩ける。
12回目	16ビート上で正確に叩ける。
13回目	メジャーコード、マイナーコードを歌える、聴き取れる。
14回目	テスト対策週
15回目	テスト

準備学習  
時間外学習

評価方法	試験80%、出席・授業態度 20%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	----------------------	--

受講生への  
メッセージ

**【使用教科書・教材・参考書】**  
 教科書、iPad、授業プリント

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニング (Ear Training)	必修 選択	必修	年次	1・2年	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	月曜2限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。  
 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、  
 身の回りの音から創造力を習得する。  
 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

**【到達目標】**  
 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

## 授業計画・内容

1回目	マイナースケールを感じて歌うことができる。
2回目	コードの聞き分けができる。
3回目	臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。
4回目	タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。
5回目	テスト対策(まとめ)
6回目	確認テスト
7回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
8回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
9回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
10回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
11回目	2声のメロディーを聞き分けることができる。
12回目	2声のメロディーを聞き分けることができる。
13回目	テスト対策(まとめ)
14回目	テスト
15回目	テスト返却 復習

準備学習  
時間外学習

評価方法	試験80%、出席・授業態度 20%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	----------------------	--

受講生への  
メッセージ

**【使用教科書・教材・参考書】**  
 教科書、iPad、授業プリント

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒストリーオブミュージック (History of Music)	必修 選択	必修	年次	1・2年	担当教員	水沼 慎一郎
学科	スーパーエンターテインメント 科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜2限
<b>【授業の学習内容】</b> 実際の楽曲を通し、様々な音楽の歴史を深く学んでいく。 ※作曲家・ピアニスト 新潟大学卒業。スコラ・カントルム(フランス・パリ)卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティエノの各氏に師事。							
<b>【到達目標】</b> 日本と世界の音楽史を学び比較し、これからの音楽を考えていく力を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	ポピュラー音楽を中心とした歴史背景の説明
2回目	日本の音楽と世界の歴史的背景
3回目	西洋音楽史①: 古代の音楽
4回目	西洋音楽史②: 中世の音楽
5回目	西洋音楽史③: 近代の音楽
6回目	西洋音楽史④: 現代の音楽
7回目	西洋音楽史⑤: ブルースからジャズ
8回目	西洋音楽史⑥: ポップス
9回目	日本音楽史①: ポピュラー全盛期
10回目	日本音楽史②: 民謡
11回目	日本音楽史③: 雅楽
12回目	日本と東洋・欧米の音楽的関係: 俯瞰分析
13回目	テスト範囲総括
14回目	筆記テスト
15回目	テスト返却 総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1: 定期試験10% 2: レポート10% 3: 出席率60% 4: 授業態度20%
受講生への メッセージ	音楽史の硬いイメージを取り払い、今日の音楽との関わりを丁寧に伝えるよう心がけます。 年号を暗記するなどの従来の方法だけでなく、実際の曲を通し、音楽の聞き方を一緒に広く変えていきましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>  教科書: 「Western Music」Claude V. Palisca他 副読本: 「音楽中辞典」池辺晋一郎 等 準備物: メモ、筆記用具等	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒストリーオブミュージック (History of Music)	必修 選択	必修	年次	1・2年	担当教員	水沼 慎一郎
学科	スーパーエンターテイメント 科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜3限

**【授業の学習内容】**

海外を中心にポピュラーミュージックの歴史認識を習得する。  
 ※作曲家・ピアニスト 新潟大学卒業。スコラ・カントルム(フランス・パリ)卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティエノの各氏に師事。

**【到達目標】**

世界的なスタンダードとされる音楽ジャンル、ミュージシャンについての知識を習得し、国内はもとより海外でも通用する知識の習得。また、日本の音楽ビジネスの現状を世界のルーツを研究することで、より深い認識を習得する。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション。海外の音楽シーンの現状を把握する
2回目	楽器、機材の遍歴と音楽ジャンルの関係性を知る
3回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
4回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
5回目	50年代 アメリカ ロックンロールの誕生①ブラックミュージックの状況
6回目	50年代 アメリカ ロックンロールの誕生②楽器生産の動向
7回目	60年代 モータウン ブラックミュージックの革命と公民権運動
8回目	60年代 サイケデリックミュージック ドラッグカルチャーと大型ロックフェス
9回目	70年代 ハードロック、グラムロック 表現手法の多様化
10回目	70年代 ファンクミュージック、ディスコブーム
11回目	70年代 パンクロック 既存の音楽の解体
12回目	80年代 HIPHOPカルチャー MTV登場によるメディア革命
13回目	海外の音楽 エンターテインメントについて テクノロジーや最先端のパフォーマンスを探る
14回目	日本の音楽シーンを振り返る ミリオンヒットについて
15回目	筆記テスト 総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1: 定期試験10% 2: レポート10% 3: 出席率60% 4: 授業態度20%
受講生への メッセージ	

**【使用教科書・教材・参考書】**

教科書: 音楽史(洋楽編iPad)  
 配布資料他

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	DTM ベーシック (DTM Basic)	必修 選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	木曜1限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
<b>【到達目標】</b> DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	授業内容説明、DTMでの作業及び作曲の手順について、PCの立ち上げ、セッション作成、保存を理解できる		
2回目	Logic, GarageBand① 機能の説明/302講習 8の字巻きが出来る		
3回目	Logic, GarageBand② 機能の説明、ツールを理解出来る		
4回目	Logic, GarageBand③ 打ち込み練習(Drum)・トラックスタックを習得		
5回目	Logic, GarageBand④ 打ち込みが出来る(Drum, Bass)		
6回目	Logic, GarageBand⑤ 打ち込みが出来る(Drum, Bass, Piano)		
7回目	Logic, GarageBand⑥ 打ち込みが出来る(Drum, Bass, Piano, Guitar)		
8回目	Logic, GarageBand⑦ 打ち込みが出来る		
9回目	Logic, GarageBand⑦ Plug inの基本、説明(AUX, BUS)が理解できる		
10回目	Logic, GarageBand⑧ Plug inの説明(Reverbとその種類)が理解できる		
11回目	Logic, GarageBand⑨ Plug inの説明(Compressor, EQ)が理解できる		
12回目	Logic, GarageBand⑩ Plug inの復習		
13回目	Logic, GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る		
14回目	Logic, GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	DTM ベーシック (DTM Basic)	必修 選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜1限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
<b>【到達目標】</b> DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	マイクの種類について理解できる	
2回目	色々な種類のマイクを使った録音ができる	
3回目	音質(ビットレート)・圧縮データ/非圧縮データ・バウンスについて理解できる	
4回目	オートメーションを書く(strings EQ)拍子・BPMの切り替えができる	
5回目	自身の曲の曲作り	
6回目	自身の曲の歌どりが出来る	
7回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得	
8回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得	
9回目	簡単Mix① 音量と配置を理解出来る	
10回目	簡単Mix② CompressorとEQを使う事が出来る	
11回目	簡単Mix③ 空間系プラグインを使う事が出来る(reverb他)	
12回目	①②③を実際に応用できる	
13回目	①②③を実際に応用できる	
14回目	これまでの授業の復習、応用	
15回目	実技テスト	
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)		
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。	
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター		

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アレンジング (arranging)	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜1限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。  
 〈講師プロフィール〉  
 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペルなど様々なアーティストと携わっている。

**【到達目標】**  
 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

## 授業計画・内容

1回目	授業内容説明、1学年の復習
2回目	色々な楽曲の分析①コード進行、メロディを理解出来る
3回目	色々な楽曲の分析②コード進行、メロディを理解出来る
4回目	色々な楽曲の分析③アレンジが出来る
5回目	色々な楽曲の分析④アレンジが出来る
6回目	色々な楽曲の分析⑤アレンジが出来る
7回目	色々な楽曲の分析⑥歌詞を理解出来る
8回目	色々な楽曲の分析⑦歌詞を理解出来る
9回目	楽曲の制作①Logicを使用できる
10回目	楽曲の制作②Logicを使用できる
11回目	楽曲の制作③Logicを使用できる
12回目	楽曲の制作④Logicを使用できる
13回目	自分たちが作った楽曲の発表、分析
14回目	前期の授業の復習
15回目	実技テスト

準備学習  
時間外学習

授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格	実技テスト (提示された課題に沿って楽曲制作ができるか)
------	---	---	------------------------------

受講生へのメッセージ

最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

**【使用教科書・教材・参考書】**  
 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アレンジング (arranging)	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業	講義・演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース	形態		(単位)	2	曜日・時限	木曜1限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペルなど様々なアーティストと携わっている。</p>							
<p><b>【到達目標】</b></p> <p>DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。</p>							

授業計画・内容															
1回目	前期の授業の復習														
2回目	Logicを使った楽曲の制作①テーマ、コンセプトを理解する														
3回目	Logicを使った楽曲の制作②コード進行、メロディを理解出来る														
4回目	Logicを使った楽曲の制作③コード進行、メロディを理解出来る														
5回目	Logicを使った楽曲の制作④アレンジが出来る														
6回目	Logicを使った楽曲の制作⑤アレンジが出来る														
7回目	Logicを使った楽曲の制作⑥アレンジが出来る														
8回目	Logicを使った楽曲の制作⑦アレンジ、作詞を分析出来る														
9回目	Logicを使った楽曲の制作⑧アレンジ、作詞を分析出来る														
10回目	Logicを使った楽曲の制作⑨アレンジ、歌録りが出来る														
11回目	Logicを使った楽曲の制作⑩Mixが出来る														
12回目	Logicを使った楽曲の制作⑩マスタリングが出来る														
13回目	Logicを使った楽曲の制作⑪Mix、マスタリングが出来る														
14回目	後期の授業の復習														
15回目	実技テスト														
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。														
評価方法	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 定期試験 (%)</td> <td style="width: 50%;">評価方法はGPA制度となります</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト (%)</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>3. レポート (%)</td> <td>89~80点 A</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果 (%)</td> <td>79~70点 B</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験 (%)</td> <td>69~60点 C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>59点以下 F 不合格</td> </tr> </table>	1. 定期試験 (%)	評価方法はGPA制度となります	2. 小テスト (%)	100~90点 S	3. レポート (%)	89~80点 A	4. 課題成果 (%)	79~70点 B	5. 実地試験 (%)	69~60点 C		59点以下 F 不合格	実技テスト (提示された課題に沿って楽曲制作ができるか)	
1. 定期試験 (%)	評価方法はGPA制度となります														
2. 小テスト (%)	100~90点 S														
3. レポート (%)	89~80点 A														
4. 課題成果 (%)	79~70点 B														
5. 実地試験 (%)	69~60点 C														
	59点以下 F 不合格														
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。														
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b></p> <p>楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター</p>															

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	トラディショナルハーモニー (Traditional Harmony)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡辺 智哉
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜1限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 総合的な音楽の基礎を習得し、楽譜の理解、読み書き出来るようになる。  
 音楽でコミュニケーションが取れるようになる。  
 ※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

**【到達目標】**  
 プロミュージシャンや声優、俳優には移調や楽曲制作、演奏に必要な基礎知識、裏方には照明や台本に照らし合わせてタイミングや間の取り方を、そして音楽の基礎知識をあまり必要としない学科の学生にも、学び方や、考え方の多面性を育てることが目標。

## 授業計画・内容

1回目	<楽譜の歴史> ファンデーションカリキュラムの説明、楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への移り変わりを説明出来る
2回目	<音名> 鍵盤と音名の一致 楽器ごとの音域を説明出来る
3回目	<音符、休符> 音符、休符の表し方を説明出来る
4回目	<拍子記号> 小節線について、単純拍子、複合拍子は紹介のみ、タイ、シンコペーションを説明出来る
5回目	<反復記号> 反復記号を学び、音源を使用して楽譜の読み方を習得
6回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、前半の総復習を行う
7回目	<確認テスト> 確認テスト
8回目	<メジャースケール> メジャースケールの仕組み、#系のメジャースケールの仕組みを説明出来る
9回目	<メジャースケール> 5度圏の仕組みを説明出来る
10回目	<メジャースケール> b系のメジャースケールの仕組みを説明出来る
11回目	<記譜法、臨時記号> 調号を臨時記号の違い、臨時記号の効力、正しい楽譜の書き方を習得
12回目	<テンポ記号> 速度記号、速度標語を説明出来る
13回目	<強弱記号> 速度記号強弱記号を説明出来る
14回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、後半の総復習
15回目	中間テスト

準備学習  
時間外学習

基礎から楽しく学んでいきましょう。

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格
------	---	---

受講生へのメッセージ

**【使用教科書・教材・参考書】**  
 Ipad教科書、ワークブック



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	トラディショナルハーモニー (Traditional Harmony)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	渡辺 智哉
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜1限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 総合的な音楽の基礎を習得し、楽譜の理解、読み書き出来るようになる。  
 音楽でコミュニケーションが取れるようになる。  
 ※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

**【到達目標】**  
 コード理論を学ぶにあたって、楽曲分析や作曲など創作に必要な知識を習得。

## 授業計画・内容

1回目	<マイナースケール> マイナースケールの仕組み、5度圏を用いてナチュラルマイナーを説明出来る
2回目	<マイナースケール> ハーモニックマイナーを説明出来る
3回目	<マイナースケール>メロディックマイナーを説明出来る
4回目	<近親調> 各調の関係を楽譜を用いて習得
5回目	<移調> 5線を用いて移調をできるようになる
6回目	<奏法> 省略記号、奏法記号を説明出来る
7回目	<奏法> 装飾記号を説明出来る
8回目	確認テスト
9回目	<トライアド> コードの概念とトライアドの構造についてを説明出来る
10回目	<7thコード> トライアドの知識を踏まえ7thコードに発展させることが出来る
11回目	<dim7と7thコードの復習>トライアドと7thコード、dimコードの構造と響きの違いを曲を用いて説明出来る
12回目	<その他のコード>add9コードについて説明出来る
13回目	<その他のコード>sus4,6thコードについて説明出来る
14回目	期末予備テスト
15回目	期末テスト

準備学習  
時間外学習  
コードについてのプリントで宿題が出来ます

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格	出席率 期末テスト
------	---	---	--------------

受講生へのメッセージ  
 コードについて学ぶことは全ての演奏者にとって大切なことです。頑張りましょう！

**【使用教科書・教材・参考書】**  
 Ipad教科書、ワークブック

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス (Performance)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース			曜日・時限	火曜1・2限		
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。 また、外化をすることで他者とのコミュニケーションをはかり、そのスキルも習得。 <講師プロフィール>有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校 やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを 行う。							
<b>【到達目標】</b> 1年次終了時には、基礎知識を理解し、自発的にトレーニングを行える環境を整えることを目標とする。							

授業計画・内容			
1回目	自己紹介で始まり、前期目標を説明。その後基礎トレーニング方法を実演出来る		
2回目	基礎トレーニング講義、実演。ファルセットの発声法を習得		
3回目	1人1人イーストレッチ、ファルセット確認。基礎を活かすための課題曲を実演出来る		
4回目	全体基礎トレーニング実演。個人的課題曲を基礎を生かし歌唱出来る		
5回目	1人1人イーストレッチ、ファルセット確認。メジャースケールでの発声出来る		
6回目	メジャースケールでの発声を軸にマイナースケールでの発声出来る		
7回目	基礎知識、トレーニング小テスト		
8回目	全体基礎トレーニング。1人1人イーストレッチ、ファルセットの発声法を習得		
9回目	全体基礎トレーニング。基礎を応用した課題曲を実演出来る		
10回目	1人1人イーストレッチ、ファルセットを用いた課題曲を実演出来る		
11回目	全体基礎トレーニング。1人1人イーストレッチ、ファルセットの発声法を習得		
12回目	課題曲を通して基礎から応用できているかを確認し理解出来る		
13回目	基礎トレーニングを通して発声法を説明出来る		
14回目	課題曲を通して発声法を生かす事が出来る		
15回目	前期基礎トレーニング実演テスト		
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習・復習		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(基礎知識の理解力、実演力)
受講生への メッセージ	基礎練習は地味ではありますが、ヴォーカリストとして必ず必要となる技術と知識を学ぶ事ができます。 他者との比較ではなく、自分自身とみつめる時間を過ごすことで、ヴォーカリストとして必ず大きく成長し ます。トレーニングを習慣化させ、日々の成長に繋げていきましょう。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス (Performance)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	松原 匠
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実際の演奏に必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。 <講師プロフィール> Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。							
<b>【到達目標】</b> 基本的な楽器の操作ができるようになること。課題曲の自分のパートを耳コピができるようになること。シャッフル、イーブンの違いや、ハネたリズムを理解できること。ブルース進行でバックング、ソロ、キューを出せるようになること。							

授業計画・内容													
1回目	自己紹介、1年間での具体的な目標設定												
2回目	楽器の基本的な使用方法を理解し操作できるようにする												
3回目	担当楽器のバンド内での役割を理解し演奏できるようにする												
4回目	7thのコードを理解し弾けるようにする												
5回目	ブルース進行について理解しバックングができるようにする												
6回目	シャッフルのリズムを理解し弾けるようにする												
7回目	基本的なブルース進行でセッションができるようにする												
8回目	耳コピの方法を習得する												
9回目	耳コピで音をとり再現できるようにする												
10回目	ダイアトニックコードを理解できるようにする												
11回目	ダイアトニックコードを理解しキーチェンジができるようにする												
12回目	8分のグルーヴを体で感じ演奏できるようにする												
13回目	16分の細かいグルーヴを体で感じ演奏できるようにする												
14回目	今までのおさらい												
15回目	実技テスト												
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。												
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80% <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top; margin-left: 10px;"> <tr><td colspan="2">評価方法はGPA制度となります</td></tr> <tr><td>100~90点</td><td>S</td></tr> <tr><td>89~80点</td><td>A</td></tr> <tr><td>79~70点</td><td>B</td></tr> <tr><td>69~60点</td><td>C</td></tr> <tr><td>59点以下</td><td>F不合格</td></tr> </table>	評価方法はGPA制度となります		100~90点	S	89~80点	A	79~70点	B	69~60点	C	59点以下	F不合格
評価方法はGPA制度となります													
100~90点	S												
89~80点	A												
79~70点	B												
69~60点	C												
59点以下	F不合格												
受講生への メッセージ	アンサンブルの中で必要な技術を教えていきます。奏法や知識を使いカッコいいミュージシャンになりましょう。よろしくお願いします。												
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。													

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス (Performance)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	河野 充生
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜5限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アコースティック、エレクトリックの生楽器(4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど)に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。 (講師プロフィール)ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太朗、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あし、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など、ロックバンドBlind Birdなどでも精力的に活動中。							
<b>【到達目標】</b> 1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、 4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。							

授業計画・内容													
1回目	生楽器の名称とその音色について① ギターの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。												
2回目	生楽器の名称とその音色について② ベースの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。												
3回目	生楽器の名称とその音色について③ キーボードの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。												
4回目	生楽器の名称とその音色について④ ドラムスの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。												
5回目	ドラムセットについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。												
6回目	ドラムセットについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。												
7回目	ベースについて① ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。												
8回目	ベースについて② ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。												
9回目	ギターについて① ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。												
10回目	ギターについて② ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。												
11回目	キーボードについて① キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。												
12回目	キーボードについて② キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。												
13回目	4リズムのアレンジメント 各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得する。												
14回目	4リズムのアレンジメント 各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得す												
15回目	総復習とテスト。												
準備学習 時間外学習	生楽器を実際に手にして演奏してみることで、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMIに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。												
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>1. 定期試験(%)</td> <td>評価方法はGPA制度となります</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト(%)</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>3. レポート(%)</td> <td>89~80点 A</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果(%)</td> <td>79~70点 B</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験(%)</td> <td>69~60点 C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>59点以下 F不合格</td> </tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	2. 小テスト(%)	100~90点 S	3. レポート(%)	89~80点 A	4. 課題成果(%)	79~70点 B	5. 実地試験(%)	69~60点 C		59点以下 F不合格
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります												
2. 小テスト(%)	100~90点 S												
3. レポート(%)	89~80点 A												
4. 課題成果(%)	79~70点 B												
5. 実地試験(%)	69~60点 C												
	59点以下 F不合格												
受講生への メッセージ													
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> チャート、プリントを配布。													

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス (Performance)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜1・2限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。          また、外化をすることで他者とのコミュニケーションをはかり、そのスキルも習得。          &lt;講師プロフィール&gt;有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校や          ボーカリストスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p> <p><b>【到達目標】</b>          1年次終了時には、基礎知識を理解し、自発的にトレーニングを行える環境を整えることを目標とする。</p>							

授業計画・内容			
1回目	前期内容を振り返り、後期授業目標設定。基礎トレーニング方法を実演出来る		
2回目	新しい発声法を理解し説明出来る		
3回目	新しい発声法を用いてトレーニング出来る		
4回目	新しい発声法を用いて課題曲を実演出来る		
5回目	呼吸を理解し課題曲を実演出来る		
6回目	表情筋を使用し課題曲を実演出来る		
7回目	イーストレッチ・共鳴・裏声小テスト。課題曲指導。		
8回目	外化。課題曲実演会。		
9回目	ソルフェージュを行い課題曲の譜面を理解出来る		
10回目	新しい発声法を理解し説明出来る		
11回目	新しい発声法を用いてトレーニング出来る		
12回目	新しい発声法を用いて課題曲を実演出来る		
13回目	呼吸と表情筋を使い課題曲を実演出来る		
14回目	共鳴を理解し課題曲を実演出来る		
15回目	外化。課題曲実演会。		
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習、復習。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(基礎知識の理解力、実演力)
受講生への メッセージ	基礎練習は地味ではありますが、ヴォーカリストとして必ず必要となる技術と知識を学ぶ事ができます。他者との比較ではなく、自分自身とみつめる時間を過ごすことで、ヴォーカリストとして必ず大きく成長します。トレーニングを習慣化させ、日々の成長に繋げていきましょう。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス (Performance)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	松原 匠
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜3・4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実際の演奏に必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。 <講師プロフィール> Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。							
<b>【到達目標】</b> ファンク、ジャズ、ロックのリズム感を理解し、バックিংやソロを弾けるようにすること。アレンジはどのように入れれば良いかを判断できること。チャーチモードを理解し弾けるようにすること。							

授業計画・内容	
1回目	前期のおさらい
2回目	ファンクの16分のリズム感を習得し、演奏できるようにする
3回目	ゴーストノートや休符を入れたパーカッシブなソロを弾けるようにする
4回目	演奏しながらコーラスする方法を習得し、実践できるようにする
5回目	ペントニックを使ったロックなフレーズを習得し、弾けるようにする
6回目	担当パートが無い曲での演奏方法を習得し、アンサンブルに活かせるようにする
7回目	ブルーノートなどの半音を使ったフレーズを弾けるようにする
8回目	スイングのリズムを理解し弾けるようにする。
9回目	II-Vを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする
10回目	II-Vを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする
11回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする
12回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする
13回目	今までのおさらい
14回目	実技テスト
15回目	総復習
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80% 評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	前期では基本的な楽器の操作や役割を習得しましたが、後期ではもう少し他のジャンルのリズムや知識を教えていきます。幅を広げて様々なジャンルに携わることができるミュージシャンを目指しましょう。よろしくお祈いします。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス (Performance)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	河野 充生
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜5限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アコースティック、エレクトリックの生楽器(4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど)に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。 <講師プロフィール>ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太朗、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あい、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など。ロックバンドBlindBirdなどでも精力的に活動中。							
<b>【到達目標】</b> 1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、 4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。							

授業計画・内容			
1回目	ドラムセットについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。		
2回目	ドラムセットについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。		
3回目	ベースについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。		
4回目	ベースについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。		
5回目	ギターについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。		
6回目	ギターについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。		
7回目	キーボードについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。		
8回目	キーボードについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。		
9回目	パーカッションについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。		
10回目	パーカッションについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。		
11回目	ストリングスについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。		
12回目	ストリングスについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。		
13回目	ホーンズについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。		
14回目	ホーンズについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。		
15回目	総復習とテスト。		
準備学習 時間外学習	生楽器を実際に手にして演奏してみること、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMIに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ			
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> チャート、プリントを配布。			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル (Gospel Ensemble)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	水曜1・2限目
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。          また、外化をすることで他者とのコミュニケーションをはかり、そのスキルも習得。          &lt;講師プロフィール&gt;有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校や          ボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p> <p><b>【到達目標】</b>          「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」、それらを体感し信じられるようになる。</p>							

授業計画・内容			
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャーし楽曲を理解出来る		
2回目	メディテーションワーク、2曲復習楽曲を歌唱出来る		
3回目	新曲1曲レクチャー、1曲パフォーマンスが出来る		
4回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス出来る		
5回目	楽曲復習、パフォーマンスを習得		
6回目	楽曲復習、パフォーマンスを習得		
7回目	3曲新曲をレクチャーし楽曲を理解出来る		
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンスが出来る		
9回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンスが出来る		
10回目	プレイフルワーク、楽曲復習		
11回目	楽曲復習、新曲レクチャーし理解できる		
12回目	楽曲復習、新曲の歌唱出来る		
13回目	楽曲復習、ケイティワーク		
14回目	楽曲復習、クラス内パフォーマンスが出来る		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	実技テスト(楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか)		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 歌詞カード、ボイスレコーダー			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル (Gospel Ensemble)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜1・2限目
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。          また、外化をすることで他者とのコミュニケーションをはかり、そのスキルも習得。          &lt;講師プロフィール&gt;有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校や          ボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p> <p><b>【到達目標】</b>          「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」、それらを体感し信じられるようになる。</p>							

授業計画・内容			
1回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る		
2回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る		
3回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る		
4回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る		
5回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る		
6回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る		
7回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る		
8回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る		
9回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る		
10回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る		
11回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る		
12回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る		
13回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る		
14回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る		
15回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る 実技テスト		
準備学習 時間外学習	実技テスト(楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか)		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 歌詞カード、ボイスレコーダー			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンスプロジェクト (Performance Projects)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	渡辺 智哉
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜3・4限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。  
 ※実務者経験: ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

**【到達目標】**  
 アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーブ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容			
1回目	課題曲1アナライズ 楽曲の説明ができる		
2回目	課題曲1アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
3回目	課題曲2アナライズ 楽曲の説明ができる		
4回目	課題曲2アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
5回目	課題曲3アナライズ 楽曲の説明ができる		
6回目	課題曲3アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
7回目	課題曲4アナライズ 楽曲の説明ができる		
8回目	課題曲4アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
9回目	課題曲5アナライズ 楽曲の説明ができる		
10回目	課題曲5アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
11回目	課題曲6アナライズ 楽曲の説明ができる		
12回目	課題曲6アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
13回目	課題曲7アナライズ 楽曲の説明ができる		
14回目	課題曲7アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
15回目	アンサンブル総復習		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度10% 出席率10% 技テスト80%	実	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンスプロジェクト (Performance Projects)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	渡辺 智哉
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	金曜3・4限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。  
 ※実務者経験: ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

**【到達目標】**  
 アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーブ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容			
1回目	課題曲1アナライズ 楽曲の説明ができる		
2回目	課題曲1アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
3回目	課題曲2アナライズ 楽曲の説明ができる		
4回目	課題曲2アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
5回目	課題曲3アナライズ 楽曲の説明ができる		
6回目	課題曲3アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
7回目	課題曲4アナライズ 楽曲の説明ができる		
8回目	課題曲4アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
9回目	課題曲5アナライズ 楽曲の説明ができる		
10回目	課題曲5アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
11回目	課題曲6アナライズ 楽曲の説明ができる		
12回目	課題曲6アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
13回目	課題曲7アナライズ 楽曲の説明ができる		
14回目	課題曲7アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
15回目	アンサンブル総復習		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度10% 出席率10% 技テスト80%	実	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	作編曲法 (Composition Arrangement)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	木曜5限

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
主にメジャーダイアトニックコードについて、またコード進行制作の基礎を習得  
(講師プロフィール) 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

**【到達目標】**  
ダイアトニックコードの理解とコードトーン  
ダイアトニックコードを使用したコード進行を制作できるようになる

## 授業計画・内容

1回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得
2回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコードを使ったコード進行と定番のコード進行を習得
3回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード、コードトーンを使ったメロディーについてを習得
4回目	Key of G・Dのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得
5回目	Key of A・E・Fのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得
6回目	メジャーダイアトニックコードについての復習
7回目	中間テスト
8回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、ディグリーネームを使った演習
9回目	#系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ(移調)を習得
10回目	b系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ(移調)を習得
11回目	sus4コードの紹介と使用法を習得
12回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
13回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
14回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
15回目	実技テスト

準備学習  
時間外学習  
授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。  
授業で習った事を実践してみましょう。

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか)
------	--	--	------------------------------

受講生への  
メッセージ  
●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。  
●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。  
●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。  
●DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。

**【使用教科書・教材・参考書】**  
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	作編曲法 (Composition Arrangement)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜6限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 主にメジャーダイアトニックコードの復習にあわせサブドミナントマイナーコードについて、またコード進行制作とメロディーのアナライズを行う事により、楽曲制作の基礎を習得。Bluesなど特殊なコード進行についても学び、音楽の視野を広げる。 <講師プロフィール>日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
<b>【到達目標】</b> ダイアトニックコードとノンダイアトニックコードを理解しコード進行制作ができる 楽曲のアナライズ(コード進行・メロディーライン)が行えるようになる							

授業計画・内容			
1回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得		
2回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得		
3回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う		
4回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う		
5回目	II m7-V7進行を習得		
6回目	II m7(b5)-V7(b9)進行を習得		
7回目	中間テスト		
8回目	Blues進行を習得		
9回目	Blues進行とJazz Bluesを習得		
10回目	II m7-V7を使用したコード進行についてを習得		
11回目	II m7-V7を使用したコード進行について実践できる		
12回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)①		
13回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)②		
14回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)③		
15回目	期末テスト		
準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましよう。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか)
受講生への メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。</li> <li>●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。</li> <li>●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。</li> <li>●DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。</li> </ul>		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (Song writing)	必修 選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	木曜2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

①ヒット曲やルーツ音楽のアナライズ②特殊なコード進行を理解、説明出来る  
 〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】

様々な楽曲に触れハーモニー感覚を養う  
 分析する力を養い、楽曲制作のアイデア・ネタを集める。

授業計画・内容

1回目	ヒット曲のアナライズ① ドラムのリズムパターンとベースのコンビネーションを習得
2回目	ヒット曲のアナライズ② ピアノがメインで演奏させる場合の他のパート演奏について理解、説明出来る
3回目	ヒット曲のアナライズ③ ラインクリシェについて理解、説明出来る
4回目	ヒット曲のアナライズ④ 転調のある楽曲とピボットコードについて理解、説明出来る
5回目	ヒット曲のアナライズ⑤ 代理和音・セカンダリドミナントについて理解、説明出来る
6回目	ヒット曲のアナライズ⑥ ブルージー7thコードについて理解、説明出来る
7回目	中間テスト
8回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ① コードとスケールの関係について、 ノンダイアトニックコード□m7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
9回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ② コードとスケールの関係について、 dim7やaug7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
10回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ③ コードとスケールの関係について、 ドミナントモーションする□7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
11回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ④ コードとスケールの関係について、 ドミナントモーションしない□7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
12回目	Bluesの楽曲構成を習得
13回目	Ja z z などの楽曲構成を習得
14回目	BluesやJa z z などの楽曲構成を習得
15回目	期末試験

準備学習  
時間外学習  
授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。  
 授業で習った事を実践してみましょう。

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格	実技テスト (提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか)
------	---	---	-------------------------------

受講生への  
メッセージ  
 ●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。  
 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。  
 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。  
 ●DAW (Digital Audio Workstation) の扱い方も勉強しておきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (Song writing)	必修 選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜3限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>トラックアンドフックについて、トラックメイク（コード進行とリズム）、フックライティング（印象的なメロディーをつくる）、編曲の演習を行う</p> <p>〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。</p>							
<p><b>【到達目標】</b></p> <p>自分の得意とする作曲法の確立と楽曲制作</p>							

授業計画・内容			
1回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、マックス・マーティン洋楽ヒットソングについて理解、説明出来る		
2回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、織田哲郎とBメロの大切さを理解、説明出来る		
3回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、小室哲哉と転調についてのアイデアを理解、説明出来る		
4回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、アラン・メンケンを理解、説明出来る		
5回目	フックライティングを習得		
6回目	フックライティングと簡易録音機器について習得		
7回目	フックライティングと簡易録音機器について習得		
8回目	フックライティング演習		
9回目	サビメロ作成からのBメロ作成編曲について理解、説明出来る		
10回目	フックライティング演習		
11回目	サビメロ作成からのBメロ作成編曲について理解、説明出来る		
12回目	エレクトロダンスミュージックを理解、説明出来る		
13回目	エレクトロダンスミュージックのアナライズとDAWを使ってのトラックメイクについて理解、説明出来る		
14回目	エレクトロダンスミュージックのアナライズとDAWを使ってのトラックメイクについて習得		
15回目	エレクトロダンスミュージック演習		
準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましょう。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格	実技テスト (提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか)
受講生への メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音（保存）しておくようにしましょう。</li> <li>●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。</li> <li>●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。</li> <li>●DAW (ProTools, Logic等)の扱い方も勉強しておきましょう。</li> </ul>		
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b></p> <p>楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター</p>			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	サウンドメイキング (Sound Making)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜3.4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 様々なジャンルのアレンジスタイル(楽器構成、フレージング)をMIDIプログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ(リズム、ベース、メインのコード楽器)の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。 <講師プロフィール>日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
<b>【到達目標】</b> 楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。							

授業計画・内容			
1回目	R&B編 1、Basicアレンジ プログラミング演習		
2回目	R&B編 1、上モノアレンジ Track完成／R&B編 2、Basicアレンジ プログラミング演習		
3回目	R&B編 2、上モノアレンジ Track完成		
4回目	R&B編 3、Basicアレンジ プログラミング演習		
5回目	R&B編 3、上モノアレンジ Track完成／R&B編 4、Basicアレンジ プログラミング演習		
6回目	R&B編 4、上モノアレンジ Track完成		
7回目	実践編 1、Vo素材に対してのアレンジワーク演習(R&B編を踏まえて)		
8回目	4つ打ちBeat編 1、Basicアレンジ プログラミング演習		
9回目	4つ打ちBeat編 1、上モノアレンジ Track完成／4つ打ちBeat編 2、Basicアレンジ プログラミング演習		
10回目	4つ打ちBeat編 2、上モノアレンジ Track完成		
11回目	4つ打ちBeat編 3、Basic & 上モノアレンジ Track完成		
12回目	4つ打ちBeat編 4、Basic & 上モノアレンジ Track完成		
13回目	実践編 2、Vo素材に対してのアレンジワーク演習(4つ打ちBeat編を踏まえて)		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	課題 100%
受講生への メッセージ	頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。楽曲制作の本当の楽しさを知りたければ、真剣に取り組んで下さい。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	サウンドメイキング (Sound Making)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜3.4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 様々なジャンルのアレンジスタイル(楽器構成、フレージング)をMIDIプログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ(リズム、ベース、メインのコード楽器)の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。 <講師プロフィール>日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
<b>【到達目標】</b> 楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。							

授業計画・内容			
1回目	Basicアレンジ演習		
2回目	Funky Groove 1 Track 完成/Basicアレンジ演習		
3回目	Funky Groove 2 Track 完成		
4回目	Basicアレンジ演習		
5回目	Funky Groove 3 Track 完成/Vo素材に対するアレンジワーク		
6回目	Vo素材に対するアレンジワーク(Funky Groove編を踏まえて)		
7回目	Basicアレンジ演習		
8回目	Rock 1 Track 完成		
9回目	Basicアレンジ演習		
10回目	Rock 2 Track 完成		
11回目	Basicアレンジ演習		
12回目	Pop Track 完成		
13回目	Vo素材に対するアレンジワーク(Rock、Pop編を踏まえて)		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	課題 100%
受講生への メッセージ	頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。楽曲制作の本当の楽しさを知りたければ、真剣に取り組んで下さい。		
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>			

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	コンポジションプロジェクト (Composition Project)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	井上 直
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース			曜日・時限	月曜5,6限		

**【授業の学習内容】** (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブックイング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。  
 ※実務者経験:株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント所属 主業務はコンピューター&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。

**【到達目標】**  
 ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。  
 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。  
 ◆著作物を扱うリテラシーを習得する。  
 ◆本授業を通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。

## 授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】卒業制作のレギュレーションとフローの説明、目標設定発表、グループ決め、スケジュール表を制作する
2回目	【講義】CDのメリットデメリット、配信のメリットデメリット、また情報を発信できるサイトやツール・SNSの紹介・特色を分析出来る
3回目	【コンセプトワーク】アルバムを制作するにあたり、コンセプトを明確に表記した企画書の作成が出来る
4回目	【コンセプトワーク2】企画書、スケジュール表を提出(企画書スケジュールのリテイクあり)企画の通ったグループから作品制作演習を行う
5回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う
6回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※企画書提出×切
7回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
8回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
9回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
10回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
11回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
12回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
13回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
14回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
15回目	【OC(質問事項)に対する講義】スケジュールと制作演習を行う、現地点での制作楽曲のプレゼンが出来る

準備学習  
時間外学習

授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。  
 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)
------	--	--	---

受講生への  
メッセージ

NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。  
 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。  
 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。

**【使用教科書・教材・参考書】**  
 プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。  
 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨)  
 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	コンポジションプロジェクト (Composition Project)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	井上 直
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義 または 演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	月曜5,6限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブックイング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。 ※実務者経験:株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント所属 主業務はコンピューター&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。							
<b>【到達目標】</b> ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。 ◆著作物を扱うリテラシーを習得する。 ◆本授業を通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。							

授業計画・内容												
1回目	【コンセプトワーク】アルバム制作のスケジュール確認											
2回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
3回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
4回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
5回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
6回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
7回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
8回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
9回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
10回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
11回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
12回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
13回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
14回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
15回目	【制作演習】CDアルバム制作、楽曲のプレゼンができる											
準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。											
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>1. 定期試験(%)</td> <td>評価方法はGPA制度となります</td> <td rowspan="5">レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト(%)</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>3. レポート(%)</td> <td>89~80点 A</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果(%)</td> <td>79~70点 B</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験(%)</td> <td>69~60点 C 59点以下 F不合格</td> </tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)	2. 小テスト(%)	100~90点 S	3. レポート(%)	89~80点 A	4. 課題成果(%)	79~70点 B	5. 実地試験(%)	69~60点 C 59点以下 F不合格
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)										
2. 小テスト(%)	100~90点 S											
3. レポート(%)	89~80点 A											
4. 課題成果(%)	79~70点 B											
5. 実地試験(%)	69~60点 C 59点以下 F不合格											
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。全力を尽くして作品創作に臨みましょう。											
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨) 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意												

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	スポーツ&エンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜日3限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)							
<b>【到達目標】</b> ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックの知識を身につけることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
6回目	簡単な動きの中で、自分が良く見える姿勢、ポーズ、シルエットを研究し歌唱パフォーマンスができるようになる
7回目	ステップ、ポーズのバリエーションを増やし、歌唱パフォーマンスができるようになる
8回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
9回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(アイソレーション、ポップ、サイドスライド)
10回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスができるようになる
11回目	振り付けの中で自分の見せ場がどこか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
12回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
13回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜日4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)							
<b>【到達目標】</b> ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	歌唱時のフォームを意識することが出来るようになる
2回目	リズムを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
3回目	リズム+グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	共鳴についての知識を身につけることができる
6回目	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
7回目	歌唱パフォーマンス時の体のバランスを整える知識を身につけることができる
8回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンス(前期よりクオリティの高い)を考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンス(前期よりクオリティの高い)を行うことができる
11回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、前期よりクオリティの高い歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、隙のないパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース			曜日・時限	2	金曜日1限	
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実践に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行っている)							
<b>【到達目標】</b> ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	2年次の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が自分で理解し出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックのレパトリーを増やしパフォーマンスができるようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	1年次よりレベルをあげたステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
8回目	振り付けに合わせて、どんな歌唱パフォーマンスがあるか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンスができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができるようになる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、クオリティの高いパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	金曜日2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行っている)							
<b>【到達目標】</b> ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	卒業まで、卒業後の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知ることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	昨今のミュージックシーンに、多大な影響を与えているダンスジャンルPOPPINGの基礎を身につけることができる
8回目	アイソレーション、ポップ、サイドスライドを身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
9回目	ストレッチ、振り付け8X4を身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
10回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げるヴォーカルが引き立つ演出を中心に制作することができる
11回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げスキルアップをすることができる
12回目	服装、角度、ポーズ、パフォーマンスを様々なバリエーションでパフォーマンスが出来るようになる
13回目	改善点を見つけ、どのようにすると良くなるか反復練習し、クオリティの高い歌唱パフォーマンスが出来るようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	照明デザイン (Lighting design)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	木曜4,5,6限

**【授業の学習内容】**

照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。  
 ※デライト株式会社（照明会社）所属。約35年照明担当として従事している。

**【到達目標】**

照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容

1回目	授業内容の説明、機材説明 舞台機構
2回目	機材説明、ケーブルコネクターの説明 巻き方 色について LHQでの色の混ざり方を学ぶ
3回目	仕込み演習 I 簡単な仕込み図の見方 書き方 調光卓の操作について学ぶ
4回目	仕込み図の作成 調光卓/PINSPOTの操作について学ぶ
5回目	照明仕込み 照明シュートについて 調光卓の操作について学ぶ
6回目	照明仕込み 照明シュートについて 調光卓の操作について学ぶ
7回目	サオによる照明シュートについて学ぶ
8回目	学園祭に向けての準備。仕込み図、機材選定を行う。
9回目	学園祭での役割と反省点
10回目	ホール演習準備 役割分担
11回目	ホール演習準備 仕込み図、機材リストの確認
12回目	ホール演習 港文化小劇場 ホール説明 照明設備説明 前明かりのシュート
13回目	仕込み演習 劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
14回目	仕込み演習 劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
15回目	ミュージカルの舞台製作の振り返り。

準備学習  
時間外学習

評価方法 実技、授業態度などを評価

受講生への  
メッセージ

**【使用教科書・教材・参考書】**

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	照明デザイン (Lighting design)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜4,5,6限

## 【授業の学習内容】

照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。  
 ※デライト株式会社(照明会社)所属。約35年照明担当として従事している。

## 【到達目標】

照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

## 授業計画・内容

1回目	前期の復習
2回目	仕込み図の作成に伴い必要な要素を学ぶ。電源、灯体、回線図など
3回目	仕込み図を作成する。
4回目	仕込み図を作成する。
5回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
6回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
7回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
8回目	ホール演習に向けての準備。役割分担
9回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
10回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
11回目	ホール演習 瑞穂文化小劇場 劇場でのオペレートを行う。
12回目	ホール演習 振り返り
13回目	卒業進級展に向けて役割分担。
14回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
15回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生への メッセージ	

## 【使用教科書・教材・参考書】

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	安形 学
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日2限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーブとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態 でどのように動かすかを身につけることができる。</p> <p>※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダデイズ ニールワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナル ジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパー チャンプル』TV出演。</p>							
<p><b>【到達目標】</b> ①身体の動かし方 ②音表現 ③ダンスの構造 を理解する。踊る時の考え方、感じ方を習得することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ダンスに対するガイダンス&オリエンテーション・音を知ることができるようになる
2回目	音を知る、音を作る(リズム・グルーブ)8・16・32ビート、表と裏、UP、DOWN、SIDE、前後斜めのノリ、グルーブをつくるには、ループからの裏 切り、タイミング、テンポを身につけることができる
3回目	ボディーコントロール、自然の力/胸、腰、首、肩のアイソレーション、連動、パワーのON・OFF、慣性の法則、遠心力、浮力、動、反発力、張 力を身につけることができる
4回目	音を作る、音質、ニュアンス/アクセント、強、クイック、ストップ、カウンターパワー、スローパワー、スピードorパワークイック→ストップ・クイ ク→スロー→ストップができるようになる
5回目	音を作る、重さ、ノーカウント/スピード→一定のスピードをキープする。足首の使い方、視覚→動き方を残像にすることができるようになる
6回目	精神、右脳を使う/思考⇔感じる、内部と外部のイメージ イメージ→表現、形を音に合わせる、感覚を音に合わせてフリースタイル、インブ ロ、コア、核、ボディーコントロール、クリエイト、マインドコントロールを身につけることができる
7回目	グルーブトレーニング/パーカッションの練習、パーツチョイスができるようになる
8回目	重さトレーニング/スピード、タイミング、視覚的、三種の視点からトレーニングができるようになる
9回目	フリースタイル/音に何を合わせるのか?を身につけることができる。
10回目	フリースタイル/感覚、動き、形、イメージ、感情、パワー、筋肉収縮ストレッチを身につけることができる
11回目	教え方をマスターする/形、動き、音、イメージを説明できる。
12回目	教え方をマスターする/感覚、コツ、メカニズムを説明できる。
13回目	メインムーヴ+サブムーヴ=振付ができるようになる。
14回目	総合/音、身体、精神で必要な技術をルーティンでできるようになる。
15回目	テスト/授業の中から大切な要素を抜粋してテストを行う
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	音表現を身体でするのがダンス 身体を動かす時にスピードとパワーとイメージを大切にす。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	安形 学
学科	スーパースターエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日3限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーブとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態 でどのように動かすかを身につけることができる。</p> <p>※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダデイズ ニールワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナル ジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパー チャンプル』TV出演。</p>							
<p><b>【到達目標】</b> ①身体の動かし方 ②音表現 ③ダンスの構造 を理解する。踊る時の考え方、感じ方を身につけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	2人組での組み系、操作系、ペアダンスなどのバリエーション、見せ方を身につけることができる
2回目	2人組での組み系、操作系、ペアダンスなどのバリエーション、見せ方、パズルのような思考を身につけることができる
3回目	組み系、操作系、ペアダンスを自身で創作することができるようになる
4回目	組み系、操作系、ペアダンスを自身で創作することができるようになる
5回目	身体の中身だけではなく、外部を意識したダンスを身につけることができる
6回目	外部を表現することにより、空間を利用し大きな見せ方を身につけることができる
7回目	小道具を使ってエンターテインメント性を高めることができるようになる。
8回目	小道具を使用し、自分以外のコントロールをすることができるようになる。(スティック・タオル・バンダナ・ポール・ロープ・服・ ペットボトル・ステッキ・椅子 etc...)
9回目	小道具を使用し、自分以外のコントロールをすることができるようになる。(スティック・タオル・バンダナ・ポール・ロープ・服・ ペットボトル・ステッキ・椅子 etc...)
10回目	リズムを作り出す為、両手によりリズムを出してセッションすることができるようになる。
11回目	作品創りのノウハウ、音の構成と作品の構成、6人チーム×5による創作
12回目	作品創りのノウハウを身につけることができる
13回目	音の構成と作品の構成の説明ができる
14回目	学生による創作と発表をし、評価をすることができるようになる
15回目	テスト/授業の中から大切な要素を抜粋してテストを行う
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	音表現を身体でするのがダンス 身体を動かす時にスピードとパワーとイメージを大切にす。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	安形 学
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜日2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プロとして指揮するために必要な作品作りや揃え方、ダンスの技術を知って作品を評価できる。 ※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダディズニーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。							
<b>【到達目標】</b> 教え方、作品の創り方をマスターすることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	重さ、音にのる/ダンスを楽しむ、考え方を再確認、ルーティーン、技術を身につけることができる
2回目	フリースタイルでの考え方/何を音に合わせるのか、ルーティーン、技術を身につけることができる
3回目	揃える/揃える為にする事、何を揃えるか、形、動き、ベクトル、スピード、ニュアンス、アクセント、気持ち、テンション、イメージ、何をどの方向に、どのようにするかを説明できる
4回目	音に感覚を合わせる/力、収縮、ストレッチ、脱力、振動、イメージ、遠心力、フィーリングダンス、音表現を身につけることができる
5回目	作品制作・3D/3Dに見せる方法、High&Low、回転、移動、音の構成、リズム作り、ボディパーカッション、作品の構成ができるようになる
6回目	作品制作・3D/ユニゾン、シンメ、ソロ、パート、ジャンル、グルーブ、音質、テンション、クール、表現方法を身につけることができる
7回目	作品制作・3D/フォーメーション、移動、High&Low、雰囲気、ロール、アトオン、2人組で踊ることを身につけることができる
8回目	ジャッジトレーニング/振付、ダンサー、ジャッジの3組に分かれ学生による振付作品を学生がジャッジしコンテストを実施できるようになる
9回目	ジャッジトレーニング/ジャッジの項目を作品創りに活かすことができるようになる
10回目	ジャッジトレーニング/ジャッジの項目を理解し説明できるようになる
11回目	ジャッジトレーニング/ダンスの技術、上手さが何なのかを理解できるようになる
12回目	ジャッジトレーニング/ダンスの動きについて説明することができる
13回目	ジャッジトレーニング/レベルアップに活かすことができるようになる
14回目	ジャッジトレーニング/ダンスの技術、上手さが何なのかを理解することにより技術点の高い作品を創作できるようになる
15回目	テスト/技術を動視したダンスを作成し発表
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	ダンサーとして踊る事のレベルアップだけではなく、創り手としての作品の創り方と伝え方、指導方法を習得する。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	安形 学
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜日3限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プロとして指揮するために必要な作品作りや揃え方、ダンスの技術を知って作品を評価できる。 ※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012～2014年、フロリダディズニーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。							
<b>【到達目標】</b> 教え方、作品の創り方、自分自身以外をコントロールする、揃え方をマスターすることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	学生がインストラクターになり、レッスンを進め、その内容を評価することができる
2回目	インストラクターとしての指導ノウハウとして、形・動き・音・イメージ・感覚・メカニズムを考えレッスンを行うことができるようになる
3回目	インストラクターとしてのレッスンの流れや指導方法、喋り方を身につけることができる
4回目	ダンステクニックの収縮・ストレッチ・脱力・気力を身につけることができる
5回目	ダンステクニックの・振動・イメージ・遠心力の感覚をつかみ身につけることができる
6回目	右脳を使ってイメージ力をUPすることを身につけることができる
7回目	右脳の特徴を理解し、音のイメージを身体で表現することができるようになる
8回目	右脳開発。作品の流れを構成し、具体的な動きを創ることができるようになる
9回目	これまでに学んだダンスに必要な要素を取り入れ、大切に、振付をすることができるようになる
10回目	これまでに学んだあらゆるカテゴリーを意識してダンスをすることができるようになる
11回目	踊る・仕切る・創る ダンスに関わる仕事の種類と適性を説明できる
12回目	教える・従う・創る ダンスに関わる仕事の種類と適性を説明できる
13回目	学生による創作と発表をし、評価をすることができるようになる
14回目	学生による創作と発表をし、評価に基づき迅速に修正をすることができるようになる
15回目	テスト/学んだダンスに必要な要素を取り入れ、自身で振付をしたダンスを発表
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	ダンサーとして踊る事のレベルアップだけではなく、創り手としての作品の創り方と伝え方、指導方法を習得することができる。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズ (JAZZ)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	原 佳宏
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	金曜日1限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 柔軟性、筋力、リズム感を高めるトレーニングをしながら、踊る事、人前に立つ、パフォーマンスすることが出来る様にする。 ※実務者経験：1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。							
<b>【到達目標】</b> 身体能力の向上と動く事、人前に立つなど、苦手意識の払拭。 ダンススキルの向上。パフォーマーとしての意識の確立。							

授業計画・内容	
1回目	柔軟と筋トレトレーニングの方法を覚え、出来るようになる
2回目	ジャズスキル、シェネ、ピルエットを覚え回る事に慣れ、出来るようになる①
3回目	ジャズスキル、シェネ、ピルエットを覚え回る事に慣れ、出来るようになる②
4回目	足を高く上げる練習(バットマン)を行い出来るようになる①
5回目	足を高く上げる練習(バットマン)を行い出来るようになる②
6回目	ダウン、アップやアイソレーションを行い、リズム感を養うことが出来る①
7回目	ダウン、アップやアイソレーションを行い、リズム感を養うことが出来る②
8回目	振付を正確に覚え、目線が下がらない様に練習出来るようになる
9回目	重心移動を上手に使い、大きく踊れる様になる
10回目	体の面をしっかりと動かす様に練習出来るようになる
11回目	表情にも意識を払いながら、ただ踊る⇒パフォーマンスするに昇華させることが出来る
12回目	全員でもピッタリ揃って踊れる様にする。そうする為にはどうすれば実現できるか考え出来るようになる
13回目	鏡を見ずに他の人を見ないで、1人でも堂々と踊れる様になる
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	前期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行い、自分の体を作る事を心がける。 与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	1. 定期試験(80%) 2. 授業態度(20%)
受講生への メッセージ	それぞれのスピードで大丈夫なので、まず昨日の自分に負けない様、着実に一步一步スキルアップしていきましょう。 体を動かす、踊る事を楽しむ気持ちも忘れずに。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> レッスン着・タオル・シューズ 水分補給できるもの	



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズ (JAZZ)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	原 佳宏
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	金曜日2限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基礎トレーニング、クロスフロアを行いながら、基礎テクニックを習得。 踊る事に慣れさせながら、踊りのノウハウを理解し、正しく体が使えるようにする。 ※実務者経験: 1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。							
<b>【到達目標】</b> オーディションなどによくあるクロスフロアをしっかりとこなせるようになる。 基礎テクニックのやり方を理解し、それをしっかり踊りの中で活かせる様にする。							

授業計画・内容	
1回目	ターンアウトとシェネ、パドブレ、ステップ、シャッセの習得する
2回目	パラレルとピルエットの習得する
3回目	バットマンの習得する
4回目	リリース、コントラクションとタンジュ、プリエの練習を行い出来るようになる
5回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックを正確に繋げられる様にする
6回目	ピケターンを習得する
7回目	シャッセジャンプを習得する
8回目	ソデバスクを習得する
9回目	シェネジュッテを習得する
10回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる①
11回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる②
12回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる③
13回目	課題の振りを踊るテストを行う
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	後期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行いながら、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	①定期試験(80%) ②授業態度(20%)
受講生への メッセージ	それぞれのスピードで大丈夫なので、まず昨日の自分に負けない様、着実に一步一步スキルアップしていきましょう。 体を動かす、踊る事を楽しむ気持ちも忘れずに。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> レッスン着・タオル・シューズ 水分補給できるもの	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズ (JAZZ)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	原 佳宏
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	水曜日1限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基礎トレーニング、クロスフロアーを行いながら、振りではどう踊り、体をどう使えばどう見えるか、主観的にだけでなく、客観的に見る習慣をつけ、動きの中で意識出来る点を増やしていく ※実務者経験: 1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。							
<b>【到達目標】</b> 基礎的な知識、柔軟性、筋力、リズム感などを養いながら、クロスフロアーをしっかりと出来るようにして、JAZZ特有のしなやかでメリハリのある動きを目指す。							

授業計画・内容	
1回目	柔軟と筋トレ方法、ジャズの基本用語を覚え理解する
2回目	シェネの習得とともに、スポットや注意点を把握する
3回目	ピルエットの習得とともにバレエのピルエットとの違いを把握する①
4回目	ピルエットの習得とともにバレエのピルエットとの違いを把握する②
5回目	バットマンとピケターンの習得。リリースとコントラクションが出来るようになる①
6回目	バットマンとピケターンの習得。リリースとコントラクションが出来るようになる②
7回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックに磨きをかけ、繋げられるようになる①
8回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックに磨きをかけ、繋げられるようになる②
9回目	振付を正確に覚え、目線や重心をコントロールが出来るようになる
10回目	動きの流れを掴み、周りの人とピッタリ揃って動けるようになる
11回目	ソデバスクやシェネジュッテなどのジャンプテクニックの習得する
12回目	踊りにしっかり緩急をつけられるようになる
13回目	パフォーマンスする意識を持ち表情に至るまで考えて踊ることが出来るようになる
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	前期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋力トレーニングや柔軟を行い、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できるようにする
評価方法	①定期試験(80%) ②授業態度(20%)
受講生への メッセージ	自分がやりたいジャンル、そうでないジャンルと好みはありますが、せっかく色々なジャンルを学べる機会なので、貧欲に好き嫌いせず、どんどん吸収していきましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> レッスン着・タオル・シューズ 水分補給できるもの	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズ (JAZZ)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	原 佳宏
学科	スーパーエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜日2限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          基礎トレーニング、基礎テクニックの練習を主体に、踊り方の面でも高い表現力を身に付ける為に、目線、重心、表情、緩急、色々な所に注意しながら繰り返し練習し身につける。          ※実務者経験: 1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          プロフェッショナルとしての意識と知識を持たせ、様々な場面で活躍できる様にJAZZダンスのテクニックをしっかりと習得し、説明ができるようになるまでいかせる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シエネを習得し、説明できる様にする
2回目	ピルエットを習得し、説明できる様にする
3回目	ピケターンを習得し、説明できる様にする
4回目	バットマン、ソデバスクの復習と習得する
5回目	ダウン、アップや簡単なステップやリズム取りを正確に取れる様にする①
6回目	ダウン、アップや簡単なステップやリズム取りを正確に取れる様にする②
7回目	シエネジュッテの習得、流れの中で不要な動きを無くしていく(振付)
8回目	アクセルターンの習得とスポット強化①
9回目	アクセルターンの習得とスポット強化②
10回目	シエネジュッテで体を倒せる様にして、そのままフロアに入れる様にする
11回目	エアプレーンの習得、フロアからの蹴りあがりの練習と習得する①
12回目	エアプレーンの習得、フロアからの蹴りあがりの練習と習得する②
13回目	他の人の背中を転がる練習、フロア両足を開いて倒立し、その後足を滑り込ませる練習を行う
14回目	課題の振付を踊るテスト
15回目	後期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行い、自分の体を作る事を心がける。 与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	①定期試験(80%) ②授業態度(20%)
受講生への メッセージ	あと1年！！1分1秒を大切に吸収できる物は全部吸収してください。 あと社交性も大切に！！そして今一緒に頑張っている仲間を大切に。
<p><b>【使用教科書・教材・参考書】</b>          レッスン着・タオル・シューズ          水分補給できるもの</p>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	HOUSE (HOUSE)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	早川 昌貴
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日3限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) HOUSEの技術だけでなく、自分の体を知り、表現の仕方を学ぶことができる。 ※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。 三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。</p>							
<p><b>【到達目標】</b> 全てのジャンルに活かせる体幹を身につけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、目標を声に出して自分の意識を高めることができる
2回目	HOUSEだけでなく、ダンスに使う基礎を習得することができる
3回目	アイソレーション、筋肉トレーニング、ステップを身につけることができる
4回目	アイソレーション、体幹トレーニング、ステップを身につけることができる
5回目	筋肉・体幹トレーニング、色んなステップを使った応用を習得することができる
6回目	色んなステップを使って、アクセントを付け、体で表現することができるようになる
7回目	ここまでやったステップを使って、振付、構成を作ることができるようになる
8回目	基礎のステップを使ってストーキングという練習方法で即興をし、表現をすることができる
9回目	各トレーニングをし、ストーキング、振付を行い、説明することができる
10回目	各トレーニングのち、ストーキング。HOUSEのステップを取り入れ振付ができるようになる
11回目	各トレーニングのち、ストーキング。HOUSEだけではなく、HIPHOPを混ぜた振付ができるようになる
12回目	基礎を1段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
13回目	基礎を2段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
14回目	基礎を3段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
15回目	今までのステップの見直し。振付を行い各自課題、意識を再確認することができる
準備学習 時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験 (50%) 2. 課題成果 (30%) 3. 実地試験 (20%)
受講生への メッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、全てのことを意識して取り組みましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	HOUSE (HOUSE)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	早川 昌貴
学科	スパー・eエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日4限
<b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) HOUSEの技術だけでなく、自分の体を知り、表現の仕方を学ぶことができる。 ※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。 三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。							
<b>【到達目標】</b> 全てのジャンルに活かせる体幹を身につける							

授業計画・内容	
1回目	前期で学習した内容の理解度を確保する為テストを実施
2回目	テストでの課題を見直し再度注意点を意識して踊る
3回目	今までの動きにグルーブを入れ、動きに幅をつけることができるようになる
4回目	軸を意識し、基礎の型に変化をつけることができるようになる
5回目	軸を意識し、基礎の型に変化とグルーブをつけることができるようになる
6回目	軸を意識し変化をつけながらグルーブを出し、表現方法の幅を広げることを習得することができる
7回目	軸を意識し変化をつけながらグルーブを出し、表現方法の幅を広げることを習得することができる
8回目	フロアの動きを多く取り入れた振付を習得することができる
9回目	難易度の高いフロアの動きを取り入れ、身体のコントロールの方法を習得することができる
10回目	難易度の高いフロアの動きを取り入れ、体重移動の方法を身につけることができる
11回目	ストーキングという練習法で自由に表現することができるようになる
12回目	覚えた動きを自由に組み替えて振付をすることができるようになる
13回目	自由に組み替えた振付を皆で覚えて共有し、説明することができる
14回目	自由に組み替えた振付を皆で覚えて共有し、構成をつけて発表することができる
15回目	1年間学んだ内容を取り入れ自作で振付をしテストを実施する
準備学習 時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 課題成果(30%) 3. 実地試験(20%)
受講生への メッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	HOUSE (HOUSE)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	早川 昌貴
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜日5限
<p>【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）          技術、精神面はもちろん、表現力、考える力を身につけることができる。          ※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。          三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。</p>							
<p>【到達目標】          全てのジャンルに活かせるリズム、グルーブ、体幹を身につけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	先輩として、上に立つ人間としてのあり方や、目標を声に出して意識を高めることができるようになる
2回目	1年次に習得した内容の理解度を確認しながら基礎のレベルチェックを行う
3回目	基礎に1つ足していき、応用力を身につけることができる。同時に体を意識し、体幹を作る。
4回目	基礎に2つ足していき、応用力を身につけることができる。同時に体を意識し、体幹を作る。
5回目	基礎に3つ足していき、応用力を身につけることができる。同時に体を意識し、体幹を作る。
6回目	ステップにリズムを1つ足し、応用のステップを習得することができる
7回目	ステップにリズムを2つ足し、応用の振付を作ることができるようになる
8回目	体幹トレーニングで軸を作り、ターンなどの軸を使った応用の振りを習得することができる
9回目	ターンなどの軸を使った応用の振りを作ることができるようになる
10回目	1つのステップのレパートリーを増やしていくことができる
11回目	ステップのリズムを応用しレパートリーを増やしていくことができるようになる
12回目	HOUSEのステップ、フロアを使って、体幹・筋力を身につけることができる
13回目	今まで習得したステップやフロアを使って即興にて身体を動かすことができるようになる
14回目	今まで習得したステップやフロアを使って組み合わせ、振付ができるようになる
15回目	自作した振付を発表し、個々の違いを見て後期への意識を高めることができる
準備学習 時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 課題成果(30%) 3. 実地試験(20%)
受講生への メッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	HOUSE (HOUSE)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	早川 昌貴
学科	スーパー・eエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日6限
<p><b>【授業の学習内容】</b> (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          技術、精神面はもちろん、表現力、考える力を身につけることができる。          ※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。          三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。</p>							
<p><b>【到達目標】</b>          全てのジャンルに活かせるリズム、グルーブ、体幹を身につけるだけでなく、技術、伝え方、感じ方を身に付けることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期で学習した内容の理解度を確保する為テストを実施
2回目	1年半学んだフロアで振付をし、スキルと理解度を確保することができる
3回目	1年半学んだフロアで振付をし、スキルと理解度を確保することができる
4回目	難易度の高いフロアのスキルを習得することができる
5回目	難易度の高いフロアのスキルを取り入れ1年半学んだステップでストーキングを実施
6回目	ストーキングにて自分の強みや弱みを知り課題を見つけることができる
7回目	すべての動きにグルーブ、感情を入れて表現することを身につける
8回目	しっかり音を感じてグルーブを出し表現することを身につける
9回目	今まで覚えた動きを自由に組み合わせ振付をすることができるようになる
10回目	今まで覚えた動きを自由に組み合わせ振付をすることができるようになる
11回目	グループに分かれ動きを組み合わせた振付に構成をつけることができるようになる
12回目	組み合わせた振付を皆で共有し説明することができる
13回目	すべてにおいて軸、表現、グルーブを意識して踊り、表現の幅を広げることを身につけることができる
14回目	今まで学んだ事を再確認、意識して踊り、個々に自作した振付を発表する
15回目	2年間で振り返り、思いをしっかりと踊りで表現することを課題にテストを実施する
準備学習 時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかりと練習してくる
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 課題成果(30%) 3. 実地試験(20%)
受講生への メッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	スタッフワーク (Staff Work)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	池淵 雄也
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜日2限
<b>【授業の学習内容】</b> アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。 ※芸能プロダクションを経て、現在フリーランスとしてプロダクションの制作実務を行う。							
<b>【到達目標】</b> プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。							

授業計画・内容			
1回目	アンケート実施。生徒の好きな音楽、普段の音楽に関する市場調査実施。		
2回目	各自、題材を決め アーティストをプレゼンテーションする		
3回目	各自、題材を決め アーティストをプレゼンテーションする		
4回目	レコード会社のプロモーター基本編 アーティスト資料について学ぶ		
5回目	エイベックス創業者について学ぶ(映像視聴)		
6回目	秋元康のAKBプロジェクトを通じて、プロデュースについて学ぶ		
7回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ		
8回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ		
9回目	考える力・考える癖をつける基本 自分の意見をもつことの重要性について学ぶ		
10回目	考える力・考える癖をつける基本 自分の意見をもつことの重要性について学ぶ		
11回目	市場調査 タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する		
12回目	市場調査 タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する		
13回目	音楽業界の著名人のインタビューを考察し、レポート提出		
14回目	テスト		
15回目	総括		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度(10%) レポート(10%) 実地試験(80%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ			
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>			



# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	スタッフワーク (Staff Work)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	藤村典子
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜 1限
<b>【授業の学習内容】</b> マスメディアと宣伝、テレビ局と新聞社など音楽業界の関係性をはじめ番組制作に必要なイベント制作について学ぶ。また楽器についての知識を楽器セッティングを通じて習得する。※プロダクションである株式会社アミューズを経て、フリーランスとして名古屋を中心としたバンドマネジメント・制作を行う。							
<b>【到達目標】</b> 番組制作に必要な各種イベント・コンサートの制作についての基礎知識を習得し、コンサート・ライブ・イベントを実施できるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	授業の説明。番組制作などに必要なイベント制作の基本的な概念を学ぶ。
2回目	イベンター(プロモーター)とアーティストマネージメントの関係。コンサートスタッフの仕事について学ぶ。
3回目	プロダクション・レコードメーカーでの業務について学ぶ。
4回目	野外フェスティバル(夏フェスetc) マネージャーとしてのかかわり方を学ぶ
5回目	楽器についての知識と必要性。用語、機材についての知識を習得
6回目	楽器についての知識と必要性。ドラムなどのセッティングを習得
7回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
8回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
9回目	現代のライブシーンを考察し、これからのライブ制作について学ぶ。
10回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
11回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
12回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
13回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
14回目	試験
15回目	総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 課題提出(50%)
受講生への メッセージ	
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>	

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	舞台機構 (Stage Equipment)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	佐藤 聖也
学科	スーパーエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	水・2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するイベントの企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識(工具・部材の取り扱い、PCにおけるアプリケーション知識、SNS知識・舞台基礎)を中心に実行。ZeppライブエンターテイメントにてZeppNagoya運営アシスタントポジションにて全国Zepp系列の運営チームにて在籍。また芸能プロダクションにも勤め、現場マネジメントとしても活動。

## 【到達目標】

各知識習得後、イベントの実行・制作として行える引き出しを増やすきっかけにする。  
また自分の特技とするものを作るきっかけにする。

## 授業計画・内容

1回目	1限 コミュニケーションスキルアップ/文章構成・マーケティング(JFN学生ラジオCMコンテスト)①	
2回目	文章構成・マーケティング(JFN学生ラジオCMコンテスト)②/ミュージカル制作について	
3回目	尺貫法・舞台大道具について①/プロモーター会社運営について	
4回目	ドラムの組み方/電源知識①/チラシコーディネート	
5回目	道具の種類・使い方について	
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識①/カラーコーディネート知識	
7回目	音源データ作成知識(Garageband etc)①	
8回目	台本の読み取り方・メモの取り方・活用方法	
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について①(Twitter・Youtubeなど)	
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について②補足:データフォーマットに関して	
11回目	機材端子/電源について②	
12回目	楽器基礎知識について/電源について②	
13回目	舞台制作①/道具についておさらい	
14回目	舞台制作②/道具についておさらい	
15回目	照明予備知識について①	
準備学習 時間外学習	常に身の回りにおけるライブやデザインの構図や構成を考える癖をつけ、授業時の発想に活かすことができるようにする。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(20%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(70%) 5. 実地試験(10%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	答えが1つとする用語があれば、答えが複数という発想に繋がるものがあります。たくさんの引き出しを身につけ、臨機応変に対応できる人材を目指してください。	

## 【使用教科書・教材・参考書】

ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	舞台機構 (Stage Equipment)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	佐藤 聖也
学科	スーパーエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水・2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するイベントの企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識(工具・部材の取り扱い、PCにおけるのアプローチ知識、SNS知識・舞台基礎)を中心に実行。

【到達目標】

各知識習得後、イベントの実行・制作として行える引き出しを増やすきっかけにする。  
また自分の特技とするものを作るきっかけにする。

## 授業計画・内容

1回目	タイムスケジュール・進行表作成①
2回目	タイムスケジュール・進行表作成②
3回目	尺貫法・舞台大道具について②
4回目	HP制作技術講座①
5回目	HP制作技術講座②
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識②
7回目	音源データ作成知識 (Garageband etc) ③
8回目	音源データ作成知識 (Garageband etc) ④
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について③(Twitter・Youtubeなど)
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について④補足:データフォーマットに関して復習
11回目	大道具舞台組み実習①
12回目	大道具舞台組み実習②
13回目	野外設営知識①
14回目	野外設営知識②
15回目	照明予備知識について②

準備学習  
時間外学習  
課題提出あり

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(20%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(70%) 5. 実地試験(10%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
------	--	--

受講生への  
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	PAテクニック (PA Technic)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	山口 健太
学科	スーパー・eエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜日1,2,3限

## 【授業の学習内容】

演習を通し、PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出し、チェックまでを反復して習得する。実習の際毎回違う機材を使用して学校内機材の使用  
方法、機材名を把握する。

※デルタ音響株式会社を経て、現株式会社アズオン(音響会社)にて約15年間、オペレーターとして従事する。

## 【到達目標】

①学校内機材の使用法、機材名を把握する。②PA基本セット(スタンドスピーカー、16chアナログミキサー、GEQ、CDプレイヤー、マイク数本)を仕込み、音出し、チェックまでを全員ができるようになる。③ケーブルを早く巻けるようになる。

## 授業計画・内容

1回目	自己紹介、演習に必要な道具の説明、学校機材の説明
2回目	ケーブルの巻き方、スタンドの立て方、マイクの付け方を覚える
3回目	安全管理(機材の運び方、皮手の必要性)の説明、機材の型番を覚える
4回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込み、音出しを説明、演習で行う
5回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込みを復習
6回目	基本セットの仕込みにCDプレイヤー、GEQを入れての演習を行う
7回目	コネクタの種類、ケーブルの種類の説明を行う
8回目	電気知識、テスターの使用法を演習で行う
9回目	マイクの音の違いを聴き比べ理解する
10回目	スピーカーの音の違いを聞き比べ理解する
11回目	ミキサーの機能を説明する(Aux、EQ、Group、Soloなど)
12回目	試験(簡易セットの仕込み、チェック)
13回目	Alphaの組み方、音の出し方を覚える
14回目	NX242などを使用し、プロセッサについて説明をする
15回目	前期授業内容の復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	①試験40% ②授業態度、取組姿勢30% ③出席率30%
受講生への メッセージ	

## 【使用教科書・教材・参考書】

# 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	PAテクニック (PA Technic)	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	山口 健太
学科	スーパー・eエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜日1,2,3限

## 【授業の学習内容】

演習を通し、PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出し、チェックまでを反復して習得する。実習の際毎回違う機材を使用して学校内機材の使用  
方法、機材名を把握する。

※デルタ音響株式会社を経て、現株式会社アズオン(音響会社)にて約15年間、オペレーターとして従事する。

## 【到達目標】

①学校内機材の使用法、機材名を把握する。②PA基本セット(スタンドスピーカー、16chアナログミキサー、GEQ、CDプレイヤー、マイク数本)を仕込み、音出し、チェックまでを全員ができるようになる。③ケーブルを早く巻けるようになる。

## 授業計画・内容

1回目	イベント演習(ミュージカル)の反省、改善
2回目	ダイナミックマイク、コンデンサーマイク、DIについて説明する
3回目	モニタースピーカーについて説明し、演習を行う
4回目	メインスピーカー、モニタースピーカーを合わせて仕込み、レベルの取り方やチェックの仕方を演習で行う
5回目	ミキサー周り、アンプ周りの電源の取り方について説明する
6回目	回線表の見方、プランの立て方について説明する
7回目	CDプレイヤーの基本操作、現場にあったオペレートしやすい操作を説明する
8回目	スピーカーケーブル、NL4、NL8の配線、考え方を説明する
9回目	エフェクターの接続、使用方法を演習で行う
10回目	Comp、Gateなどインサート接続を説明し演習で行う
11回目	カラオケ音源でのオペレート演習
12回目	試験(モニタースピーカー、エフェクター、インサート接続など使用)
13回目	回線表、音響プランを制作
14回目	楽器知識を学ぶ、実際に楽器をセッティングして演習を行う
15回目	後期授業内容の復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	①実技試験40% ②授業態度、取組姿勢30% ③出席率30%
受講生への メッセージ	

## 【使用教科書・教材・参考書】